

かねざわ

第76号

2021年(令和3年)5月

- (P-2) “わ”の会および各分科会の「今年度方針」
- (P-10) 公開歴史講座「米軍が選んだ爆撃目標」
- (P-43) 北野一清さんを悼みて

目次

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| “わ”の会今年度方針 | 分科会からの便り |
| 2 新年度を迎えるにあたって | 16 「寺社を巡る会」活動記録 |
| “わ”の会代表 江口 正彦 | 20 「古文書を読む会」 |
| 分科会今年度方針 | 22 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 NO32 |
| 4 「寺社を巡る会」 代表 金久保常二 | 代表 柴崎 幸治 |
| 5 「古文書を読む会」 代表 真田 雅行 | 23 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 NO35 |
| 6 「ふれあいの道歩こう会」代表 柴崎 幸治 | 代表 鶴岡 重典 |
| 7 「懐かしの映画を観る会」代表 鶴岡 重典 | 29 「浮雲俳句会」抄録 NO52 代表 太田 耕蔵 |
| 8 「浮雲俳句会」 代表 太田 耕蔵 | 34 「パソコンを使いこなす会」実施報告 NO4 |
| 9 「パソコンを使いこなす会」代表 相川 勲 | 歴史研究 |
| 公開歴史講座 | 37 「江戸時代の五街道に行く」(13) |
| 10 第16回公開歴史講座「米軍が選んだ日本の攻撃目標」 | 「古文書を読む会」代表 真田 雅行 |
| | 会員の動静(訃報) |
| | 43 北野一清さんを悼みて 太田 耕蔵 |
| | 44 行事予定(6月~8月) |



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ: <http://kanazawa-wanokai.in.cocan.jp/>
メー ル: yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

「新年度を迎えるにあたって」

“わ”の会 代表 江口正彦

【挨拶】

新年度を迎えますが、昨年は1年間新型コロナウイルスに始まり新型コロナウイルスで終わり現在もコロナ禍の中での苦勞1年となりました。特に、年度のスタートである総会は書面による「Web・書面表決」という総会となりました。

昨年は代表就任1年目でしたが、コロナ禍対応に追われた1年といっても過言ではないと思います。

2年目の今年度は、コロナ禍を引きずりながらも前向きに“わ”の会の運営にあたって行きたいと思いますので会員皆様のご協力をいただきたいと思います。

通常は学習会の会場は、優先予約申請により地区センターの会場を優先的に確保してまいりました。しかし、昨年度も優先予約使用申請で会場を確保しましたが、緊急事態宣言による使用禁止とその後の人数制限により全て使用できず、急遽横浜市大カメラホールを確保しました。このことはラッキーでした、おかげで3回の学習会を開催することが出来ました。今年度は、人数制限で地区センターが使用出来そうにないので、優先予約申請をあきらめて横浜市大のホール及び教室を申し込みました。結果、申込み通りではありませんが6回分の会場が確保出来ました。ただし、5月、7月と2022年2月は、日にち及び曜日の変更となりましたので、お間違いの無いよう参加をお願いします。

また、昨年度より新企画として計画しました総会後の懇親会は今年度もコロナ対応で中止となります。

【2020年度概要】

先にも記しましたように、緊急事態宣言の

為総会が開催できず書面によるWeb表決という方法にて総会を実施出来たことは、皆さまのご協力の結果です。ありがとうございます。

6月、7月は谷口雄太氏の【「伊勢」から「北条」】と木下聡氏による【北条氏康の武蔵・上野侵攻】を連続しての講演を計画していましたが、コロナ禍で開催できませんでした。ただし講師のご協力により今年度に延期とさせていただきますこととなりました。

8月は、県立金沢文庫が休館のため中止となりました。

9月は、横浜市大メリアホールで万全の対策のうえ、田中常義氏による【横浜市・横須賀市との市境の確定に至る経緯について】の講演を開催し81名という大勢の参加で無事開催できました。

10月の探訪【江戸城散策】を予定していましたが感染防止のため中止としました。

11月は、新登場の小井土守敏氏による、「曾我物語と吾妻鏡」を講演していただきました。

2月公開歴史講座は、再緊急事態宣言発令と延長の為会場(カメラホール)が使用禁止となり急遽横浜市大及び講師との調整の結果、3月27日に延期して開催できました。“わ”の会としては珍しい近代戦争史【米軍が選んだ日本の爆撃目標】一戦前日本の産業を考えるーを田中宏己講師に講演していただきました。

【2021年度】

2021年度は、6回の学習会と探訪及び公開歴史講座を計画しております。

5月の総会・学習会終了後に“わ”の会全体の懇親会を予定していましたが、コロナ禍に

より中止することとしました。また、会場も横浜市大のホール及び教室で開催することとなります。

10月の探訪は、講演・見学・会場などを考慮し、NPO法人野口英世よこはま顕彰会と長浜ホールとの共催で実施することとなります。

会員数が減少方向にありますので、今年度は新会員確保として公開歴史講座以外の学習会でもビジター参加者を募っていく予定ですので、会員皆様のご協力もお願いします。

現状では学習会も新型コロナウイルスの状況を見ながら進めて行くこととなりますが、変更・中止などが生じることがありますのでホームページ・“わ”の会通信を注視ください。

【学習会】

5月の第1回学習会は、例年通り“わ”の会会員の金間誠一氏に【120年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所】を、6月7月は一昨年が続いての連続テーマで谷口雄太氏に【「伊勢」から「北条」へ -関東管領北条氏の誕生-】と、木下聡氏に【北条氏康の武蔵・上野侵攻】、8月は県立金沢文庫企画展の講演を、9月は、田中宏己氏に【横須賀浦賀に帰ってきた引揚民】、10月の探訪は5月の学習会で学習しました野口英世と長浜検疫所に絡んで長浜ホールで【横浜検疫所(長濱

検疫所)と長浜ホール】、11月は昨年度講演いただいた小井土守敏に【『曾我物語』と刀剣説話】、そして公開講座は真鍋淳哉氏に【戦国江戸湾の海賊】を講演していただくこととしました。

【会員状況】

継続会員は男性79名、女性21名 計100名

加入は新入会員男性・女性各1名と復帰男性1名 計3名

2021年度は総数103名(男性:81名、女性:22名)で活動していきます。

【運営委員会】

退任2名で2021年度は運営委員7名顧問1名の8名で運営していきます。

運営委員7名では手数不足です。学習会、探訪の準備等で結構日々追われておりますので是非いろいろな方の運営委員への参加をご協力をお願いします。

【分科会】

現在6つの分科会も、コロナ禍の中活動が規制されながらの活動で苦慮されながら活動されておられます。各分科会は継続20年以上を目指し、今年も活発に活動されることを願っております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対応に振り回されながらの一年となりそうですが会員の皆様と共に頑張っていきましょう。

以上

今年度の方針 「寺社を巡る会」

代表 金久保 常二

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症で明けて、暮れた年度になってしまいました。幸い、寺社を巡る会は新型コロナに関して特別な問題はなく過ごす事が出来ました。

緊急事態宣言の解除後も新型コロナの影響は続き、活動の縮小など大きな影響を受けています。このような状況ですので、本年度の活動報告は、全体として、寂しい報告となってしまいました事について、ご了解をお願い申し上げます。

この会は寺社を中心とした史跡を訪ねることにより歴史を学び、頭脳の活性化、老化防止を防ぎ、歩くことにより体力維持、向上を図る事を目的として活動しています。

現在では会員数 34 名(令和 3 年 4 月)です。月一回の定例会を実施し、楽しく活動しています。月例の活動記録や活動写真は”わ”の会のホームページに掲載されています。また会報かねざわの「分科会からの便り」の紙面にも寄稿しています。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対応下での「寺社を巡る会」の状況について報告させていただきます。昨年度は初心に戻って金沢地区です。横濱金澤シテイガイド協会の案内で金沢とその周辺の探訪です。新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、催行にあたっては当面の間、半日コースとし、従来行ってきた特別拝観、昇堂してのお参り、法話は当面行わない。案内はガイド 1 名につき、最大 7 名

と致し 5 班体制として実施しました。しかし、年間計画の 5 月、6 月、7 月、9 月の探訪は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により例会中止が 4 回余儀なくされたのです。8 月、2 月は暑さ寒さを避けるために座学とし五木寛之の「百寺巡礼」の DVD を地区センターで鑑賞し、現在までに百寺の内、約 9 割のお寺を五木寛之氏の案内で参拝しています。

今年度、5 月からは、昨年度に引き続き金沢地区の寺社を中心とした史跡を 5 回訪ねます。また後半 11 月からは、会員の希望の多かった鎌倉地区です。「ゆったりと鎌倉・再発見」の共通テーマを設けて 5 回巡ります。個々の寺社は過去に何回か巡ったところだと思いますが、視点を変えたテーマで回ると、新しい発見と出会いが期待されます。

新型コロナウイルス感染症は、たとえワクチン接種が始まって、国全体で収束するまでには、さらに 2~3 年あるいはもっと長い期間が必要と言われています。会員の皆様におかれましては、引き続き、現状と同じような感染防止の対策を継続実施して、安心して探訪が出来る「寺社を巡る会」の維持にご協力をお願い致します。

今年度の方針 「古文書を読む会」

代表 真田 雅行

これまで月2回の学習会の内、第1学習は地元の文書を、第2学習はそれ以外の文書を採り上げてきましたが、金沢地区文書がほぼ一巡したため、地域を限定しないことに致しました。又学習内容報告を数行程度に短縮、簡略化しました。本年度の学習テーマは第1学習は坂本龍馬を中心にした「幕末志士の手紙」を、又第2学習は「島原の乱」を読んでいます。後者は徳川3代将軍家光の時に発生し、これを12万の軍隊で鎮圧したものの、以後の幕藩体制の維持強化に大きな転機となりました。天草・島原

の一揆とキリスト教の弾圧、3万人もの籠城者全員を殺害（1人の内通者のみ助命）した日本歴史上も稀な凄惨な事件でした。これには家光政権が初代家康在世の時には無かった現象、即ち関ヶ原の合戦以降豊臣恩顧の大名を中心とした多数の取り潰し・御家断絶による大量の牢人発生、商品経済の勃興、又幕府が城普請などの公役（お手伝い）によって大名の財政を締め付けつつある事による農村の窮乏などが挙げられます。



今年度の方針 「ふれあいの道歩こう会」

代表 柴崎幸治

2021年(令和3年)は当「ふれあいの道歩こう会」創設18年度目(年度仕切り1月～12月)に入っています。

今年度も創設時から標榜してきました安全で安心な山歩きを、そして絆を大切にチーム一体で分科会活動を運営、継続して参ります。

本会の当初の目的であった「関東ふれあいの道」を歩くことは、多くの先輩方々により踏破され、それ以降に実施されている独自コ

ースも8年が経過しました。踏破後は会員からのアンケートでコース案を募り、関東周辺のハイキング・軽登山コース、「関東ふれあいの道」のアンコールコースを花の時期、紅葉の時期等、趣を添え、コース毎にできる限りベストチャンス・シーズンを考慮してコースを立案し、月例会を実施しています。独自コースは、今年は88番から始まっています。

【今年度の月例会について】

2021年度は例年にならい8月は夏休みとして休会とし、11回の月例会が計画されていました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策としての「非常事態宣言」の発出により、1月、2月の2回の例会は延期、3月についても当初の第3木(金)曜日から月末に延期し、1月例会に予定していたコースを実施しました。4月の例会以降についても、当初予定のコース設定を一部変更して実施していきます。

なお、今年度例会計画としましては、標高差や歩行距離・時間、登山道の状況等から設

定された難易度として、「1：やさしい」、「2：ふつう」、「3：きつい」の3段階に分類されている月例会9回(1月、2月は延期)のうち「1：やさしい」はなし、「2：ふつう」は7回、「3：きつい」は2回、計画されています。

また、ほぼ例年実施されていまして一泊の月例会は、今年度も計画しませんでした。

会員数は17名(男性:13名、女性:4名)、参加率はおおむね90%となっています。

【安心・安全への対応】

今後も安全第一の山歩きを大前提に会の運営を行っていきます。

【2021年度の活動予定】

2020年の総会で承認された『ふれあいの道歩こう会 2021, 2022年 独自コース計画表』に基づき実施します。しかし、2021年独自コース計画については、新型コロナウイルス感染症による「非常事態宣言」に伴い1月、2月の例会の延期を余儀なくされた。それに伴い3月「石垣山一夜城」、6月「神皇正統記ゆかりの山宝筐山」を中止とし、2020年9月より実施している「関東ふれあいの道 神奈川県コース」を優先実施することとして「独自コース計画」を一部変更しました。また、今年度も一泊でのコース設定はありません。

会員数は昨年の18名から17名に減少、ビジターとしての登録人数は5名から7名になりました。

活動に当たっては、天気状況が著しく悪い場合等には計画延期、中止とし、何といたっても安全第一の山歩きを実施していきます。

また、今年度も新型コロナウイルスに対応した計画の中止、見直しが必至と考えられます。この感染症の早くの収束を願っています。

今年度の方針 「懐かしの映画を観る会」

代表 鶴岡 重典

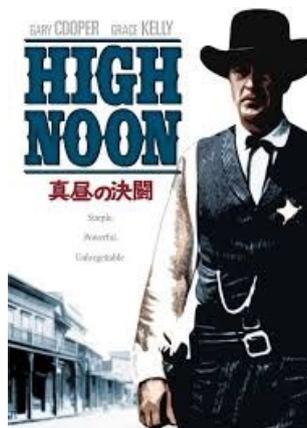
2020年度は、例年同様24作品の鑑賞計画を立てました。しかし、3月に新型コロナウイルス感染症の影響で会場の金沢地区センターが休館となり、4月から6月までの計6本の鑑賞ができなくなりました。さらに、再開した7月～8月も会場の入場者数制限から鑑賞対象者を半数ずつとする異例な展開を余儀なくされ、通常通りの鑑賞が可能になったのは9月からとなりました。

2021年度も24作品をラインナップしており、休会のため繰り越しされたものが8本（2019年度2本、2020年度6本）、新たに選択した作品が16本になります。24本の内訳は、外国映画15本、日本映画9本。看板に掲げている懐かしい映画（1960年代までの映画を規定）は12本、また当会で初めて取り扱う新規作品を12本確保しました。なお、会員の高齢化に配慮

して鑑賞作品の上映時間は24本平均で117分と2時間以内に、全作品2時間30分以内のものとなりました。

トピックスとして、鑑賞会終了後、鑑賞作品についてメールで各自が自由に感想を語りあえる場「映画をとことん楽しむ報告」を設定しました。これは、昨秋から世話人間で始めた企画で、今年になり対象を世話人から会員全体に広げたものです。取り上げた作品にもよりますが、世話人以外の方からも多数の投稿を頂いておりますので、今後とも継続していきたいと思っています。

最後になりますが、当会は2年連続してコロナ関係で休会を余儀なくされましたが、2021年度も金沢地区センターがコロナのワクチン接種会場に指定されたため、残念ながら4月以降、当面の間、休会となります。



今年度の方針 「浮雲俳句会」

代表 太田耕蔵

下記概要の活動内容に沿い、会員全員で新しいスタイルの句会作りを進める。

概要

活動内容	<p>1. 北野一清代表(主宰)亡き後、北野イズムを踏襲しながら、俳句作りの楽しさと幸せをお互いに享受できる句会作りを目指す。</p> <p>① 伝統俳句を目指す ② 俳句とは生きた証しの一行詩 ③ 作句態度 ○詩を見つける ○オリジナリティーとリアリティー</p> <p>2. 句会の活性化</p> <p>① 投句、選句表の作成・配信のデジタル化</p> <p>② 主宰は置かないで、選者を選任し、選者による秀句3句の発表と講評</p> <p>③ 会員全員による合評を取り入れ、会員相互の研鑽を図る</p> <p>④ 毎月1回2時間の句会を開催(年1~2回は吟行会の予定)</p> <p>⑤ 秀句・特選句は“わ”の会のホームページ、会報等に適時発表</p>
会員数	男：10名 女：5名 合計：15名
活動場所	句会：能見台地区センター他 吟行：金沢地区および近辺
活動時間	9:30~11:30
活動頻度	1回/月(原則、第4日曜日)
参加要件	男女を問わず、俳句に興味をお持ちの方
会費	入会時2,000円。その後は不足発生時など
募集人数	2~3名
連絡先	代表 太田耕蔵 電話 045-783-0278 副代表 小俣悦男 電話 045-782-8147

今年度の方針 「パソコンを使いこなす会」

代表 相川 勲

「パソコンを使いこなす会」はパソコン操作でお困りの会員、パソコンをもっと上手に使いこなしたい会員のためにノートパソコンを持ち寄ってみんなで問題点を解決することを目的として創設されました。爾来この目的に沿って活動し、今年度は14年目に入ります。

原則として活動日は毎月第2・3火曜日の午前
に金沢地区センターや晴嵐かなざわで勉強してきました。昨年度はコロナ禍のためZoom利用によるオンライン学習が通常講座24回中11回に及びました。今年度は緊急事態宣言が出ない限り八景コミュニティセンターを主会場に活動する予定です。

又、毎回Zoomでの配信も行いZoom会員への対応と、一般会員の便宜も図ることで出席率の向上を目論んでいます。

昨年度から三人の講師体制で企画・運営を行うことになりました。月1回全期を通して林講師がWindowsやInternet関係、別の月1回の前期を高橋講師が主としてWord関係、後期を佐藤講師がExcelの指導を担当されました。この体制は今年も継続します。

今年度の学習計画ではWindows6回、Internet4

回、Word5回、EXCEL6回、その他動画編集、お絵描き、スマホなどが計画されています。単なるパソコン操作だけでなくInternet関係、Windowsではパソコンの高速化やデバイス、バックアップといった内容、4月のテキストでは『Google ChromeとGoogleの違いは何?』『GoogleとYahooと何が違うの?』みたいな、分かっているようでよく分からない、質問したいが質問しにくいというような内容もあります。

今年度は正規会員20名(含む講師3名)、Zoom会員2名合計22名で始まります。

当初掃除当番のために作られた「班分け」も会員の相互理解や親しみを深め、又、当初からの目的である「みんなで問題点を見つけ、解決する」ことをし易くするため大変有効であることから今年度も継続していきます。

パソコンやインターネットは現在の社会生活では不可欠な道具であり、それらを使いこなすことが生活の質の向上に必須となっています。リタイア後パソコンと疎遠になっている方、今年度の新入会員の方入会大歓迎です。Zoom会員制度もあります。遠慮なくお声かけください。

2020 年度 公開歴史講座 『米軍が選んだ日本の爆撃目標』

会報編集委員 鶴岡重典

- ・ 開催日： 2021 年 3 月 27 日(土)
13：30～16：00
- ・ 会場： 横浜市立大学カメラホール
- ・ 講師： 防衛大学校名誉教授 田中宏巳氏



【はじめに】

本日の講演は第 2 次世界大戦下の日米戦争で米軍が日本本土の爆撃目標として選んだ標的をつぶさに観察すると、当時の日本の産業構造が透けて見えるということを解説したもの。日米開戦時、日本の工業生産力の実態を、米軍資料に基づいて考察するというアプローチの仕方にユニークさを感じる。

【米軍が選んだ日本の爆撃目標】

驚くべきことに、アメリカは日米開戦時の 1941 年 12 月頃から既に日本での爆撃目標を選定し始めていた。米海軍は約 700 ヶ所の爆撃目標を選定 (Ver I)、その後米陸軍もほぼ同数の爆撃目標を選定 (Ver II) し、重複部分を除いた 1065 ヶ所 (Ver III) を 1944 年に決定し、ナショナル・プロジェクトとした。目標とされたものの多くは民間の生産設備である。すなわち、公的な施設は陸軍造兵廠や海軍工廠といった、一部の生産能力のある生産設備のみで、それ以外は民間の工場 (特に、軍需産業と呼ばれた企業の生産拠点が中心) がほとんどであった。選定基準は「モノをつくる力こそが戦闘力で、生産力の優劣こそが戦闘能力の優劣を左右する」というもので

【概要】

ある。したがって、生産拠点を叩くことが勝利に直結するという考え方である。米軍が攻撃目標を選定するために資料として使ったものは、日本で公式に刊行された資料がほとんどでスパイまがいの行為によって得られたものは少ない。

【戦前日本の産業構造】

戦前 (日米開戦時) の日本の産業構造を考察するにあたって、日本企業の発行する社史をあたるというのは常套手段に思われるが、それは意外に非効率な方法である。というのは、日本企業の社史は本社中心に編纂されており、生産設備を持つ工場の記載部分が少ないからである。むしろ、上記の米軍が爆撃対象を選定するために収集した資料の方が適切ということになる。そして、米軍資料によれば、以下のような、日本産業の特性と弱点が浮かび上がる。まず地域別にみると、Ver III の 1065 ヶ所を地域別に分類すると名古屋以西が多く、「東軽西重」の産業分布が理解できる。次に産業別では、鉄等金属関係で製鉄 (鉄鉱石から銑鉄をつくる) は事実上日本製鉄が独占、製鋼 (銑鉄から不純物を取り除いて鋼鉄をつくる) は財閥系を含む数多くの企業が分担、製鉄部門の弱さが兵器建造の劣勢につながった。製造業全般で

は第1次大戦の頃、外燃機関から内燃機関への転換が行われた。内燃機関生産のためには精密工作機械工業の発達が不可欠となるが、その部門の未発達が自動車、戦車、航空機部門等の遅れの原因となった。特に、航空機に関しては世界でもトップクラスの工場を持ちながらも精密工作機械の差でアメリカに大きく後れを取った。開戦当初、ゼロ戦の活躍などが見られたが、それは航空機の性能というよりも、パイロットの優秀さに起因したものであるという見方が妥当である。

【終戦間近の無差別本土爆撃】

1944年11月から本格化した本土爆撃では当時の国際法から最初は点による爆撃が行われたが、精度が悪く非効率的であった。その後、新しく司令官に任命されたカーチス・ルメイはB29による低空からの爆撃を行い国際法を無視した面による無差別攻撃が行われるようになった。その結果、

日本の主要都市は生産施設のみならず人命でも多大な被害をうけ国土は焦土と化した。この爆撃には、事前に調査された資料と偵察で得られたデータがフルに活用された。

【おわりに】

まず、米軍が戦争に勝利するために（勝利することを前提に）開戦当初より、これほど綿密に資料を収集、分類、整理していたことは知らなかった。そして、皮肉なことに、当時の日本の産業構造を考察するにあたり、米軍資料の方が日本の資料よりも役立つということにも驚かされた。田中先生の豊富な資料に基づいた講演は十分な説得力があった。田中先生には2021年9月に予定されている第5回学習会（「横須賀浦賀に帰ってきた引揚民」）も講演をお願いしており、そちらの講演も楽しみに became。

（鶴岡重典 記）



2020年度第7回学習会アンケート集計

“わ”の会運営委員会(2021.3.27 晴れ)

『米軍が選んだ日本の爆撃目標』－ 戦前の産業を考える － 講師：田中 宏己氏

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	50	7	57(63.3)	9	66	
女	8	0	8(30.1)	5	13		
計	58	7	65(66.6)	14	79	45/72	

①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
25名	15名	4名	0名	1名

- ・説明がわかりやすかった。産業史が良く分かった。
- ・物事に対する彼我の違いが今も続いている様だ。 暗い気分になった。
- ・今までにない視点で、戦争を見直すことができた。
- ・今まで気にもしなかった、当時の経済について興味を持ちました。ありがとうございました。
- ・説明が判りやすく説得力がある。写真資料も豊富で金沢区に関連のある場所も多く大変興味深かった。最後の“日本はアメリカに勝とうという考えがなかったという話が腑に落ちた。
- ・貴重な資料の説明でよく理解できました。
- ・初めて知ることが多く勉強になりました。アメリカ軍の事前の情報収集力に日本は打ち出される可能性も少なかったのですね。田中先生の研究ご努力に感銘を受けました。時間が足りず残念でした。もっとお話し聞きたかったです。
- ・米国の合理的な政策、戦略の進め方が具体例でよく分かった。国力、産業に関する国策とは何かを具体的に理解できた。
- ・冒頭、空襲目標について語られてきたことは、ほとんど日本側の憶測、というお話に驚きました。史資料に基づいたお話で、大変新鮮に感じました。Intelligence に対する日米の認識の何たる違いか。80年前も現在も変わっていないのは敗戦を全く反省してないのでしょうか。後半お話も知らなかったこと、考えたこともなかったことばかりで目が開かれる思いでした。予想の何十倍も面白かったです。ありがとうございました。
- ・歴史の目先が変わり興味深く聞かせて頂いた。
- ・初めて聞くテーマ
- ・戦争中の日本の産業を比較すると負けるべくして負けた要因が分かる内容の講義でした。
- ・資料認識、歴史認識の相違が日米間で異なっている。その結果が、状況把握の差になったと知ることが出来た。技術力の差、何が必要なものかの理解ができていない指導者の怠慢が戦いに差ができたものと感じる。今の政界にも通じる？
- ・戦争は如何に愚かなものであるか実感した。
- ・他では聞けない内容だった。
- ・爆撃目標というより戦争産業の歴史、流れが良く理解できた。
- ・興味深かった。

- ・国力と国力の対立である戦争に対する見通しのなさを考えさせていただきました。
- ・米軍はよく調べている。日本は情報の面でも格段の差をつけられていることがわかった。日本は総合力でアメリカと大きな差、道路・工作機械等が大幅に遅れていたのは初めて知りました。日本は勝つという意識なし、昔の域にこもる考え方。
- ・日本産業を切り口にしたお話はとても興味深く理解した。
- ・話が上手で分かりやすい、具体的資料の豊富さにびっくりした。戦前生まれとして興味が大きかったのでのめるように聞いた。日本のあまりにも近代化の遅れに戦争する資格すらなかったことが改めて理解できた。時間が足りなかった。
- ・米軍の資料を使った、日本文化論として興味あった。ただ、この資料がいかに活用されたのかの検証が欲しかった。
- ・資料、画像など十分に説明いただいたと思います。ありがとうございます。
- ・戦(前・中・後)いずれの時期もサンタンたる状態だった様子がよくわかりました。そして何故あの大戦に突入したのか？今もって不可解である。当時の指導層は何を考えていたのか？
- ・良い点：実データ(企業名を含む)の記述が多かった。
- ・アメリカに勝とうという目標が無く戦争をした、日本のお愚かさがわかった。
- ・かなり専門的な講義でしたが興味深く拝聴しました。
- ・第2次大戦頃の日米の国力の差異が良くわかる説明であった。
- ・資料作りに尽力されたご様子、有り難うございました。
- ・しっかりした資料が多く大変参考になりました。
- ・製鉄産業の国策化(民営化しなかった)・内燃機関の戦いへの立ち遅れの功罪を知りました。何事にも事前収集・保存・整理が大切であると再認識しました。
- ・これほど広範な爆撃目標をリストアップしていたことに驚いた。
- ・今までとはちがう目線で、戦争の空襲をとらえられた。
- ・製鉄、道路まで含めて戦前の日本産業の問題点がモザイクを完成させるように明確に示された事に敬意を表します。

②田中講師に希望する講演テーマについて

- ・2・26事件、日清、日露戦争
- ・コロナ終了を見てNHKの放送が有ることを期待します。
- ・東郷平八郎や山本五十六などの著書に描かれているお話。
- ・日清・日露以降 明治期のテーマ
- ・横浜海軍航空隊
- ・横須賀鎮守府を中心に日本海軍の歴史
- ・思いつきませんが、色々教えてほしいと思っております。
- ・戦前、戦中の産業(会社)が現在にどうつながっているか。
- ・米軍のTargetと実際の爆撃結果の例の関係を説明いただきたい。
- ・来年度に予定されている講座に期待します。
- ・当時の国民の生活(道路は、状況は)
- ・米国と何故争い起こしたのか、講話をおねがいしたい。今後の日本の防衛。米国と同盟国でよいのか？
- ・横須賀鎮守府の盛衰

- ・現在の国力の差はどの程度か？ 今後力を入れてゆくべき産業は？
- ・大本営参謀の暴露話

③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
25名	18名	0名	0名

※チェック無し：2名

- ・コロナ禍でよく運営されていた。
- ・講演時間は2時間以内にして欲しい。
- ・スライド事前準備不足でした。
- ・新型コロナウイルス禍の緊急事態宣言は解除されたが終息のメドが立たない。収容人員クリア施設確保に苦慮されながらの開催に敬意表します。
- ・会場の手配、受付のスムーズさ。
- ・配慮された運営がなされておりました。感謝申し上げます。ありがとうございます。
- ・いつもながらの運営委員会メンバーの気配りに感謝。
- ・コロナの状況は予知できないので、今日でよいと思う。
- ・変更などありがとうございました。
- ・コロナ対策が良かった。
- ・司会、進行てきぱきしており大変良かった。
- ・コロナ禍ご苦労様です。
- ・コロナ禍で運営がむずかしい中、役員の方々ご苦労様です。
- ・コロナ対策しっかりしており、参加人数が多くても安心できた。
- ・資料準備、受付も含めて全般によくやっていたと思います。
- ・1年の回数などちょうどよいと思います。

④ “わ” の会について

- ・幹事の方に感謝します、有り難うございます。
- ・コロナ時代のイベント開催、大変ですね。ご苦労様です。
- ・スムーズな運営ありがとうございます。
- ・地元金沢にこだわったテーマを大変ですがよろしくお願いします。
- ・生涯学習“わ”の会、期待しています。
- ・事典の後の「事業」を企画実行する時期が来ているのではないのでしょうか。
- ・毎回担当、資料を準備しありがとうございます。

運営委員代表の意見・感想

- ・コロナ緊急事態宣言延長に伴い開催を延期せざるを得ず、市大及び講師の方の協力のもとで、どうか 2020 年度内に開催でき安堵しております。
 - ・日頃、中世史を中心に学習会を行っていますが、今回は視点を変えて近代戦争史を防衛大学校名誉教授の田中宏己氏に講演をお願いしました。
 - ・講演は、田中先生が自ら収集された米軍の記録を中心にそれを裏付ける日本企業の分析による米軍の爆撃目標と日本の産業等についての講演でした。
 - ・前半は、米国の爆撃ターゲットを開戦前から調査し日本では考えられないところが攻撃目標とその内容の説明。目標は、民間の生産施設と生産性のある軍事施設のみが目標とされていた。また、目標は地域別・業種別でその内容を開戦前から徹底的に調査分析がされていたようである。
 - ・後半は、日本と米国との考え方と方向の違い、米国は第 1 次大戦頃に外燃機関から内燃機関に転換し、自動車・飛行機に目を向けていたが、日本は遅れを取っていた。飛行場への輸送についても自動車の利用で利便性が注視されていた。このことは、日本の交通手段も蒸気機関車と馬車、荷車などが中心で、自動車はほとんど部品等の運搬には使われず一部の人の移動に限られていたようだ。最後に、米国は勝つために施策準備して戦ってきた。しかし、日本は、勝つということは考えていなかったという驚きの説明でありました。
また、初期はピンポイント攻撃で民衆を攻撃しないはずが、B29 の大型の爆撃が出現しピンポイント攻撃がうまくいかず、面の攻撃でそこに目標があればいいという空襲に変更され民間人が被害を受ける結果となったようです。これは、国際法違反との説明であった。
 - ・講演で語られたように、勝つべく最新の技術により戦った米国に対し、考え方も技術も遅れたもので戦った日本は、負けるべきして負けたということが理解できました。
- 最後に、田中先生には今年 9 月に横須賀浦賀の引揚民について講演を計画していますので、期待したいと思います。

『寺社を巡る会』活動記録 令和2年度第10回～第12回

第10回 DVD鑑賞「五木寛之の百寺巡礼」

開催日：令和3年2月4日（木）

参加人数：男性20名 女性8名（内準会員3名、ビジター3名） 合計 34名

【亀山本徳寺】兵庫県姫路市亀山 浄土真宗本願寺派別格本山 創建年 伝 永正12（1515）年
蓮如上人が明応2（1493）年、高弟・下間空善を播磨の国、英賀の地に派遣し、道場「英賀御堂」を建立し、布教の一大拠点となった。しかし一向一揆の勃発で、本山・石山本願寺と織田信長の対決となり、天正8（1580）年豊臣秀吉軍に寺内町は焼き尽くされ、陥落。英賀御堂だけが残り現在地に移され、亀山本徳寺と改めた。



かつて新選組が屯所として利用し隊士が切りつけたという刃傷がそのまま残る。200畳の外陣を持つ仏堂、内陣には本尊阿弥陀如来像を安置する。堂南には中宗堂（蓮如堂）があり、浄土真宗中興の祖蓮如上人の坐像を安置する。その後、亀山本徳寺は西本願寺の代役を担うなど西国の拠点として多くの参詣者が訪れた。

【大念仏寺】大阪市平野区 融通念佛宗総本山 創建年 大治2（1127）年

融通念佛宗は平安時代後期、良忍が45歳の時、京都・大原に隠棲したおり、夢に現れた阿弥陀如来から、融通念佛の教えを授けられ大念佛寺の前身の念佛道場を建てた。その後一時期、衰退するも、江戸時代には宗派を確立し、明治には宗教統制によって、一時天台宗に吸収されたが、後に独立した。現在は大阪・奈良を中心に357の末寺を抱えている。7300坪の境内を持ち、本堂は木造

建築では大阪最大。内陣の本尊・十一尊天得如来を祀る。年1回ご本尊が信者の家々を回る「御回在」と毎年1・5・9月の16日に「百万遍会大数珠くり」の行事がある。



【弘川寺】大阪府河内郡河南町 真言宗醍醐寺派準別格本山 創建年 伝 天智4（665）年

葛城山に住む修験道の開祖・役行者が創建と伝わる。奈良時代には行基がここで修行、その後空海によって再興、真言宗の寺院となった。寛正4（1463）年には河内の国の乱れによりすべての堂宇が焼失し、江戸時代に復興される。



護摩堂には、岩に腰掛ける役行者像、奥の本堂には、役行者作という本尊・薬師如来坐像を安置している。漂白の歌人・西行の終焉の地でもある。西行は高野山で約三十年、奈良・大峰山でも修験道の修行を積み重ねた。「西行終焉の地の寺」として有名になり、西行を慕う多くの人々が訪れるようになり、現在に至っている。（川口壽 記）

第11回 「釜利谷史跡散策-Ⅱ六国峠の道を歩く」

開催日：令和3年3月4日（木）

参加人員：男性17名 女性7名 計24名

コース：京急金沢文庫駅(集合)～白井と白井ヶ崎～正法院～谷津浅間神社～能見堂の喚鐘～
谷津の庚申塔～能見堂跡～谷津関ヶ谷不動～不動池～太寧寺～京急金沢文庫駅（解散）

横浜南部の円海山緑地からは相模、武蔵、安房、上総、下総、伊豆の六カ国を望むことができる。

金沢文庫駅西口に集合し南に出る。かつて谷津川にかかる「白井橋」があつた場所を通り、右に行った辺りが「白井ヶ崎」で崖下に金沢七井の一つ白井があつた。かつては鉱泉宿があり栄えていた。

更に進むと右手に正法院がある。約1200年前、弘法大師が井戸を掘り加持すると水が赤くなり、その水で不動明王像を描き護摩祈禱をした。日照りや疫病に苦しんでいた村人は救われ、その不動明王像は秘仏とされている。裏山に滝の不動明王が祀られ、毎年1月28日の初不動は賑やかである。境内右手に小さな井戸がある。金澤七福神では福祿寿を祀っている。



正法院

少し戻り左に行き谷津浅間神社の下に到着。口伝によれば、寛仁年間（1017-21）に藤原道長が能見堂に来遊したおり、東方にお椀を伏せたような山があつたので「塗桶山」と名付け、富士浅間大菩薩を勧請したという。祭神は木花咲耶姫（コノハナサクヤヒメ）で、安産の守護神として崇められている。

京急線踏切の向こうに谷津消防団の火の見櫓が見える。この鐘は能見堂から持ってきた釣鐘で、刻字から「江戸深川八幡町たたみや利右衛門同茂兵衛」が延享2年（1745）、二人の女性の十三回忌の追善のため寄進したと推察できる。「西村和泉守作」と作者名も刻まれている。

山道に入る手前に3基の庚申塔が並んでいる。庚申塔は、庚申信仰に基づき村に災いが入って来ないように村境や辻に建立された。3基の庚申塔は宅地造成工事の際に集められたようだ。

六国峠入り口の看板から山道に入り能見堂跡に向かう。交通の要所でもあつた能見堂は、眺望がすばらしく、心越禅師が能見堂に来て「金沢八景」の漢詩を詠んだ事で有名になった。江戸の太平の世に、金沢の地は行楽地として賑わうようになる。江戸の商人達が建てた「金澤八景根元地」の石碑が残る。



能見堂跡

平安時代に巨勢金岡という絵師が松の根元に海山の絶景を描こうとしたが、余りの景観に終に筆を捨てたとされる。更に藤原道長が絶景を愛でて草庵を結び、これが能見堂になったとされる。いずれも箔付のための説話とみられる。

能見堂は明治2年(1869)に失火で全焼し、筆捨松も大正9年(1920)に台風で倒れ、残った根も戦争中に松根油のため掘り取られ、説話を伝えるものは残っていない。緑地には能見堂の柱跡がコンクリートでマーキングされている。

更に山道を進むと谷津関ガ谷不動に出る。もとは染井谷の滝の辺りにあったが宅地開発で昭和62年(1987)に遷座された。毎年1月28日の初不動祭りが今も続いている。参道の急な石段を注意しながら下り、不動池に出る。

不動池は野鳥の集まる緑豊かな憩いの場と

なっている。かつて、釜利谷の開発で出た膨大な土砂を、金沢地先埋め立てに使用するために、トンネルを掘り、ベルトコンベアーで運んだ跡である。

住宅街を抜けて太寧寺に着く。本尊は薬師如来。かつては、室の木にあったが、昭和18年(1943)に、海軍追浜飛行場拡張のため強制的に遷された。源頼朝の異母弟である源範頼の墓とされる五輪塔がある。赤ひげ先生と呼ばれた江戸の医師・小川笙船の墓もある。金沢文庫駅まで戻り本日の探訪終了。(横山美智男 記)

第12回 富岡の古道を歩いて寺社巡り

開催日：令和3年4月1日(木)

参加人員：男性18名 女性7名 計25名

コース：京急富岡駅(集合)～富岡トンネル～富岡古道→経塚～谷戸坂地藏尊～持明院～悟心寺～宝珠院～十二天鼻松方正義別邸跡～慶珊寺～豊島明重父子供養塔～直木三十五文学碑～長昌寺～富岡八幡公園

京急富岡駅に集合し、スタートはすぐそばの富岡トンネルへ。昭和20年6月10日終戦間際の日曜日に米軍の富岡駅空爆により、富岡トンネルではたくさんの死人がでた。

そしていきなり二松庵裏山の急坂を上り、富岡古道の稜線を40分余り上り下りしながら歩く。「十三の丘」が富岡の名前になったとの事、驚きである。富岡古道は数百メートル歩くと、大きな古木が多く見晴らしもすこぶる良い尾根道である。途中の経塚は持明院の墓地で通称「丁塚墓地」と呼ばれている。

更に進むと路傍に谷戸坂地藏尊がある。安永5年(1776)に地元の野本かなさんが建立された小さな地藏尊である。富岡には野本家の他、鹿島家、大胡家、吉川家と代々名主を務められた旧家がある。

尾根道を下りて持明院に着く。山号は海照山、真言宗御室派。本尊は大日如来像であるが本堂

には入れず。金沢札所巡りの33番、34番の結願寺である。



持明院

次は悟心寺、創建は古く鎌倉時代である。臨済宗建長寺派に属し、北条家の末寺で静かなたたずまいの中に地藏菩薩像が祀ってある。

続いて宝珠院へ。金沢区内の寺院30寺の中で13寺が真言宗御室派であり、その中の一つである。本尊は大日如来坐像で豊島明重によって創建された。

国道16号線を横切り少し歩くと慶珊寺。本尊は大日如来で、ここも真言宗御室派。江戸時代に刀傷事件を起こした豊島明重父子の供養塔がある。また富岡トンネルで戦災を受けた方達の供養塔がある。寺の裏手には大正から昭和の初めに活躍した文豪、直木三十五の文学碑と直木邸跡がある。



長昌寺

旧海岸道を歩き長昌寺へ。臨済宗建長寺派、本尊は釈迦如来像。天正2年(1574)に柳下豊後守が建立した。観音堂には芋観音と呼ばれる観音像が祀られている。毎年3月初めには「芋観世音御開帳」が開かれる。残念ながら昨年と今年度はコロナ感染で開催されなかった。本堂裏に直木三十五と胡桃沢耕史の墓がある。(瀬川健次 記)

古文書を読む会			
第一学習		幕末志士の手紙	
2021年1月14日 (木) 10:00~	金沢公会堂第一会議室	第一学習 幕末志士の手紙④ ・海軍用艦船の斡旋を薩摩に念押しし、医師からの薬と詩歌のお礼をも記載。 ・極密として龍馬に届け、龍馬は内容を認め朱筆の裏書を木戸孝允へ返却。 ・(以下龍馬から家族あての手紙)伏見で襲撃された状況を知らせている。	15名
2021年2月10日 (水) 10:00~	金沢公会堂第一会議室	第一学習 幕末志士の手紙⑤ ・慶応2年12月龍馬から姉(乙女)に宛てた手紙。まず妻お龍の実家の話。 ・次いで鹿児島への新婚旅行(日本初とか)。特に霧島山登山と周囲の状況、さらに山頂の「天の逆針」を抜くくだりを詳報している。	13名
2021年3月11日 (木) 13:00~	金沢公会堂第一会議室	第一学習 幕末志士の手紙⑥ ・龍馬から姉に宛てた長文の手紙の最後の部分。お龍との新婚旅行を終え、第二次長州戦争に加わり勝利した模様と、西郷の人となり伝えてる。 ・寺田屋の女主人に宛ててお龍とその母の世話を願う手紙を出している。 ・親交のある長州藩士三吉宛に後藤象次郎を見知り置くようお願いしている。	15名

龍馬が寺田屋の女主人お登勢に宛てた手紙・・・「何かお咄し八妻より申し上げべく、来年ハ上京致し候まゝ御目かゝり候 龍子か老母元より御家計の御世話二候、猶よろしくおしかり被下度、実ニハチャクチャ別(分)りかね候人なれハ、実に御気のとくニ存候、早々 龍」・・・【ハチャクチャニじつに変わった人】。龍馬はお登勢のことを「おっかあ」と呼んでいたという。手紙の文面からは気を許した者同士の息づかいがうかがえる。「実に御気のどくニ存じ候」と頼み事をしている本人がしやあしやあと書いている。1866年11月20日付



お登勢・・・18歳で寺田屋に嫁に来て、夫伊助は放蕩者だったので、お登勢が代わりに寺田屋の経営を取り仕切った。お登勢は人の世話をすることを道楽としており、坂本龍馬をはじめとする幕府から睨まれていた尊皇攘夷派の志士たちを保護した。龍馬に託されたお龍は養女として扱い、お龍の母に仕送りまでしていた

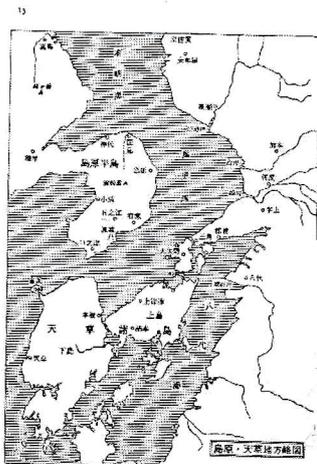
古文書を読む会

第二学習

四郎乱物語(島原の乱)

2021年1月28日 (木) 12:30～	金沢地区 センター 中会議室	<p>第二学習 島原の乱①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回より首記テーマが開始。講師より時代背景、登場人物の説明があった。 ・天草郡には昔から5人の地頭がいたが小西行長に負け家来になった。 ・その小西を加藤清正が破り所領としたが、訴訟を経て唐津領になった。 	15名
2021年2月25日 (木) 10:00～	金沢公会堂 第一会議室	<p>第二学習 島原の乱②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乱勃発直前の天草諸島の状況説明。寺沢氏が築いた富岡城の推移等。 ・同時期の島原支配は有馬氏から松倉氏に代わり農民への暴政が始まった。 ・もともと痩せ地に加え飢饉が襲い、農民の困窮が限界に近付いた。 	13名
2021年3月25日 (木) 10:00～	金沢公会堂 第一会議室	<p>第二学習 島原の乱③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凶作飢饉が襲い正直なるものも忍び兼、生きながら餓鬼道に堕ちた。家業をやめていたづらに悪事をたくらむより外の事なかりけりに至る。 ・飢饉下に関わらず、実力以上の巨大な新城を建設。この城普請に人夫に使われ、その上に城普請入用として数度の課役をかけられ農民は更に困窮。 ・城主松倉豊後守逝去、子息勝家家督相続するが父以上に過酷な税負担を強いる。補佐の家老3人が更に悪辣、農民は生きる希望を失い始める。 ・飢渴愁いの中、空の色が只事ではないなどの怪異雑説が飛び交った。 	14名

島原の乱



江戸初期の1637年に肥前島原藩と同国唐津藩の飛地肥後天草の農民が、益田時貞(天草四郎)を首領に、キリシタン信仰を旗印としておこした百姓一揆。奈良県の五条から松倉重政が4万石で入る。本来なら4万石だが幕府には10万石と申請してその10万石の分の年貢を農民に納めるように強要して、幕府から禁教令が出されたことも理由の一つとして年貢を納めない農民やキリスト教徒を弾圧。加えて相つぐ凶作のため、終末観念や救世者出現の期待は急速に広まった。農民は自分の生活やキリスト教徒のために立ち上がる事を決心し、一国一城令が出されて廃城となっていた原城に籠城し反乱を起こした。

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.32

代表 柴崎 幸治

独自コース 90 番 「神奈川県コース 7 番 大磯・高麗山のみち」(通算 165 回)

2021 年の 1 月、2 月の例会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の対策としての「非常事態宣言」の発出により延期を余儀なくされた。今回は、「関東ふれあいの道 神奈川県コース」の「7 番 大磯・高麗山のみち」を歩いた。今回のコースは丘陵と一般道の松並木の歩道、海の見える歩道、そして、明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸園(神奈川県立大磯城山公園)を歩くコースである。

朝 9 時 30 分に JR 平塚駅の改札口に集合し、集合の早かった人から、駅南口のバス乗り場からバスに乗り込み、都合 2 便のバス便で起点である西海岸バス停へ。そのバス停で参加者全員の到着を待ち、挨拶後、スタートした。花水川に架かる下花水橋を渡り、その橋の下をくぐり抜け、堤防沿いに歩き、JR のガードを抜ければ、高来(たかく)神社である。境内はちょうど桜満開。境内でいつもの準備体操を実施。

神社の横を抜け、女道で登りに入る。ジグザグの道ではあるがかなりの急登である。最後の登りは階段、そして高麗山山頂。高麗山からは八俣山、浅間山と若干の上り下りのある尾根道、そしてテレビ塔のある湘南平、さくらが満開、花見の人であろうかかなりの人がいる。テレビ塔前の撮影ポイントで写真を撮り、昼食と散策の時間。お天気は良いが、霞か黄沙でほとんど遠望がきかず。食事後は、展望台前に集合、一般道まで下り、旧島崎藤村前庭でコーヒータイム。そこからは国道 1 号線に出て、松並木の歩道を少し歩くと明治記念大磯邸園、そこを見学、そして西湘バイパス沿いの歩道を歩き旧吉田邸がある県立大磯城山(じょうやま)公園(旧三井別邸地区もある)へ、再建された旧吉田邸の見学は時間的に無理であり、邸園内を各自散策。管理棟前に集合し、バス停城山公園前よりバスに乗り、JR 大磯駅へ。大磯駅前解散。

実施日：2021 年 3 月 30 日(火) 天候：曇りときどき晴れ 歩行時間：約 3 時間 歩行距離 約 8km

参加者：18 名(男性 13 名 女性 5 名) コース所在地：神奈川県 平塚市 大磯町

交通：往路：京急 金沢文庫 8:17 発 ⇒ 8:26 着 上大岡 地下鉄 8:36 発 ⇒ 8:26 着 戸塚 JR 9:02 発 ⇒ 9:26 着 平塚

復路：JR 大磯 15:53 発 ⇒ 戸塚 地下鉄 ⇒ 上大岡 京急 ⇒ 16:52 着 金沢文庫

コースと時間：平塚駅バス停 ⇒ 西海岸バス停 9:55 全員集合 10:00 発 ⇒ 10:20 高来神社 [準備体操] 10:30 ⇒ 高麗山 11:10 ⇒ 11:50 湘南平{昼食}12:45 ⇒ 13:20 旧島崎藤村邸前庭[コーヒータイム]13:40 ⇒ 13:45 松並木 13:50 明治記念大磯邸園 14:20 ⇒ 14:50 旧吉田邸園 15:25 ⇒ 15:30 城山公園前バス停 15:33 発 ⇒ 15:47 JR 大磯駅前[解散]

ご存じでしょうか！「高麗山」とは？

高麗山は大磯丘陵の東端にあり、標高 168m の山である。読みは「こまやま」と読み、歌川広重の「東海道五十三次」では平塚宿にその姿が描かれている。この平塚宿の絵は、平塚駅の改札口の出たところにレプリカが飾られている。地元では高麗寺山(こうらいじさん、こうらいじやま)と呼ばれ、江戸時代までは高麗寺という寺が山中にあり、高句麗から渡来した高麗若光を祀った寺院と言われ、現在の高来神社も高麗神社として寺内にあったという。このように高麗寺山から高麗山になった。7 世紀に滅亡した高句麗からの亡命者の一部がこの付近に定住して寺院を建立し、この名をつけたと考えられている。そしてこの地に一旦定住した大陸からの移住者は、その後現在の埼玉県にあった高麗郡に集められ移住していった。旧高麗郡の日高市の高麗神社、高麗山聖天院も高麗若光に縁がある。(参考：観光パンフレット、Wikipedia)

いまひとつふれあいの道養花天 一 祝



高来神社にて



撮影 P.湘南平(テレビ塔前)で

グッド・ウィル・ハンティング / 旅立ち (Good Will Hunting)

観賞日 2021年1月11日 上映時間 127分

【概要】

制作 1997年
脚本 マット・デイモン、ベン・アフレック
監督 ガス・ヴァン・サント
音楽 ダニー・エルフマン
出演 マット・デイモン (ウィル・ハンティング)
ロビン・ウィリアムズ (ショーン・マグワイア)
ベン・アフレック (チャッキー・サリヴァン)
ミニー・ドライヴァー (スカイラー)
ステラン・スカルスガルド (ジェラルド・ランボー)



【あらすじ】

アメリカ、ボストンのマサチューセッツ工科大学。この世界最高水準の大学の数学科教授でフィールズ賞受賞者のランボーは大学院生に宿題を与える。その宿題が解けた先輩はノーベル賞受賞者、高名な物理学者と私の3人だけという超難問であった。ところが、それをいとも簡単に解いて見せた者が現れた。しかもそれは学生ではなく、20歳の清掃夫の青年ウィル・ハンティングであった。ある日、ウィルは仲間たちと近くのハーバード大学に行き、食堂で女子学生のスカイラーと出会い二人の付き合いが始まる。ウィルは天才的頭脳の持ち主であるが、悲惨な幼児体験から心を閉ざしている青年で

あった。ランボーはウィルの才能を惜しみ、旧友で心理学者のショーンにウィルの心を開かせるように頼む。毎週木曜日の16時からの1時間。ショーンとウィルの真剣勝負が始まる。最初、凍てついていたウィルの心も徐々にではあるが開き始める。「君は悪くない」と繰り返し語るショーンに泣きじゃくりながら抱きつくウィル。この時、初めてウィルの心が開かれた。忘れたい過去と有り余る天分。過去との決別と再生の物語。ウィル・ハンティング 21歳の旅立ち。

【解説】

■ポイント

●マット・デイモン、ベン・アフレックの出世作

脚本はデイモンがハーバード大学在学中にアフレックと共同執筆したもの。

俳優としても脚本家としても二人にとって出世作となった。

二人は親友の関係にあるが遠くさかのぼると縁戚にもあたる。

●受賞 (1998年第70回アカデミー賞)

9部門にノミネートされ2部門で受賞。

受賞：脚本賞、助演男優賞 (ロビン・ウィリアムズ)

この年は「シンドラーのリスト」が7部門で受賞

■見どころ

●名セリフの数々

・ウィルが心を開く瞬間：本作のハイライト・シーン

・ショーンとランボーとの会話：ウィルとショーンの会話がメインになるが、ショーンとランボーの会話にも味がある。

●旅立ちをしたのはウィルだけか？

シェーン (Shane)

観賞日 2021年1月25日 上映時間 118分

【概要】

制作 1953年 アメリカ
原作 ジャック・シェファー
監督 ジョージ・スティーヴンス
音楽 ヴィクター・ヤング
出演 アラン・ラッド (シェーン)
ジーン・アーサー (マリアン・スターレット)
ブランドン・デ・ワイルド (ジョーイ・スターレット)
ジャック・パランス (ジャック・ウィルソン)



【あらすじ】

アメリカ西部ワイオミング州。開拓農民のスターレット家にさすらいのガンマン、シェーンがやって来る。スターレット家は粗末な丸太小屋に夫のジョン、妻のマリアンと息子のジョーイの3人がつましく暮らしていた。スターレットが住む地域一帯は元々ライカーの牧場であったが、ホームステッド法の制定により開拓農民のものとなったという経緯がある。そのため、ライカーは開拓農民に嫌がらせをして追い出そうとしていた。スターレット家にわらじを脱いだシェーンは、ある日町に出かけ酒場で派手な

立ち回りを演じてしまう。ライカーは開拓農民のリーダー格であるスターレットの所にやって来て立ち退きを迫るが、スターレットは断固拒絶する。その後、ライカーに雇われたウィルソンが開拓農民のトーリーを撃ち殺すという事件が起き、開拓農民の間に動揺が広がる。ライカーからの呼び出しに応じ約束の場所に出向こうとするジョンを制止し、自ら決闘に赴くシェーン。ラストは映画史に残る決闘シーンと雄大なロッキー山脈にこだまするジョーイの叫び声。

【解説】

■ポイント

●ホームステッド法

1862年に制定された自営農地法。

この法律の制定により、公有地を耕作する者の土地の無償取得が促進され、西部の農業振興、西部開拓が進んだ。

●リメイク作品

「遙かなる山の呼び声」：山田洋次監督作品（1980年）

●受賞・AFI評価

・第26回アカデミー賞受賞：撮影賞

・AFIアメリカ映画ベスト100（2007年）：45位

西部劇では、「捜索者」（1956年）、「真昼の決闘」（1952年）に次ぐ順位

■見どころ

●決闘シーン

西部劇の華。早撃ち同士の決闘シーン。

●ラストシーン

映画史に残る名シーン。

シェーンは何故振り返らず立ち去ったのか？

●音楽

ヴィクター・ヤング作曲の主題歌「The Call for Far-Away Hills」

恐怖の報酬

観賞日 2021年2月8日 上映時間 131分

【概要】

制作 1953年 フランス イタリア
監督・脚本 アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー
音楽 ジョルジュ・オーリック
撮影 アルマン・ディラール
出演 イヴ・モンタン (マリオ)、シャルル・ヴァネル (M・ジョー)
フォルコ・ルリ (ルイジ)、ペーター・ファンアイク (ビンバ)、
ヴェラ・クルーゾー (リンダ)



【あらすじ】

南米の産油国、ベネズエラ。フランス系移民のマリオは同郷のジョーと出会い意気投合する。マリオにはリンダという恋人がいる。ある日、油田で爆発事故が起き多数の死傷者が出る。アメリカ資本の会社は燃え盛る火を消すためには大量のニトログリセリンで爆風を起こすしかないという結論に達する。そこで、急遽、500キロ先の現地まで大型トラックでニトロを運ぶドライバーを募る。危険な仕事だけに2000ドルという破格の報酬が提示される。カネに釣られた応募者の中から採用されたのはマリオとジョー、ルイジとビンバの4人。4人はペアになって2台のトラックに分乗。悪路を細心の注意で突き進む。強気だった

ジョーがにわかに怖じ気づく。しかし、今更後戻りはできない。道路をふさぐ岩をビンバの発案でニトロを使って爆破。難関を乗り越え上機嫌で出発したルイジとビンバのトラックが突如爆破。それを見て恐怖におののくジョー。次の障害は原油の泥沼。なんとか脱出したものの目的地直前でジョーが死亡。しかし、一人残ったマリオが届けたニトロで鎮火に成功。一躍、英雄になり、凱旋するマリオの帰路に起きたことは……。手に汗握るシーンがてんこ盛り。サスペンス映画の古典的名作。

【解説】

■ポイント

●イヴ・モンタン (1921年～1991年)

- イタリアで生まれたが2歳の時にマルセイユに移住。ミュージックホールで歌っていたところを大歌手のエディット・ピアフに認められ、パリに進出。
- 1946年の「光なき星」で映画デビューを果たし、初主演した本作で映画俳優としての地位を確立。以後、ハリウッドにも進出し、「恋をしましょう」(1960年)、「パリのめぐり逢い」(1966年)に出演。
- プライベートでは1951年に女優のシモーヌ・シニョレと結婚。父親が共産主義者であったことから政治運動に熱心であった。

●受賞

第6回カンヌ国際映画賞：グランプリ、男優演技賞 (シャルル・ヴァネル)
第3回ベルリン国際映画賞：金熊賞

■見どころ

- 4人の行く手を阻む、次々に起きる難題
- 最後の思いがけない結末



戦場のピアニスト (The Pianist)

観賞日 2021年2月22日 上映時間 148分

【概要】

製作 2002年 独、仏他
原作 クワディスワフ・シュピルマン
脚本 ロナルド・ハーウッド、ロマン・ポランスキー
監督 ロマン・ポランスキー
音楽 ヴォイチェフ・キラール
出演 エイドリアン・ブロディ (クワディスワフ・シュピルマン)
トーマス・クレッチマン (ヴィルム・ホーゼンフェルト陸軍大尉)
エミリア・フォックス (ドロタ)



【あらすじ】

1939年、ポーランドの首都ワルシャワ。ドイツ軍による空爆。ピアニストとして名を成していたユダヤ人のクワディスワフ・シュピルマンはポーランド人の娘ドロタと知り合う。戦争の長期化に伴い、ナチスによるユダヤ人迫害が強化される。ユダヤ人居住区への強制移住からさらには強制収容所への移住が行われる。収容所行きを免れたシュピルマンは家族と別れユダヤ人居住区の外に出る。ユダヤ人でも若く体力のある者は建設労働に従事。その裏で秘密に進められる抵抗運動。居住区に潜む抵抗軍が反撃するがドイツ軍に鎮

圧される。シュピルマンも身を隠していた場所が見つかりドロタの家に逃げ込む。やがて、戦況は連合国側優勢となりワルシャワ市内でもポーランド人が蜂起しドイツ軍も応戦。廃墟の中を逃げまどうシュピルマンはドイツ軍のホーゼンフェルト大尉に見つかりピアノ演奏を命じられる。シュピルマンの演奏を聞いた大尉は食料と防寒服を与え、シュピルマンは終戦を迎える。

実在した名ピアニストであるシュピルマンの体験記を基に、自らも同様の体験をしたポランスキーが描いたホロコーストの世界。

【解説】

■ポイント

●ロマン・ポランスキー (1933年～)

- ・パリで生まれた後、3歳でポーランドのクラクフに引っ越す。第二次大戦時、母親はアウシュビッツで虐殺、父親は強制労働、本人も各地を転々と逃亡。
- ・戦後、1962年に「水の中のナイフ」で監督デビュー。「吸血鬼」(1967年)に出演したシャロン・テート(写真)と結婚したが、テートは翌年カルト教団により惨殺される(シャロン・テート事件)
- ・事件後の憔悴期を経て「チャイナタウン」(1974年)で復活したが、1977年子役モデルに対する性的行為で有罪判決を受け国外脱出。
- ・本作でアカデミー賞監督賞を受賞するが、逮捕の可能性があるため授賞式には欠席している。



●受賞

- ・アカデミー賞：7部門にノミネートされ、監督賞、脚色賞、主演男優賞を受賞
- ・カンヌ映画祭：最高の賞であるパルムドールを受賞



■見どころ

●「シンドラーのリスト」と並ぶホロコースト映画の代表的作品

前者がシンドラーというドイツ人の視点から描いているのに対し、本作はユダヤ人であるポランスキーが歴史的悲劇を生々しく描いている。

息子

観賞日 2021年3月8日 上映時間 121分

【概要】

制作 1991年 松竹
原作 椎名誠「倉庫作業員」
脚本 山田洋二、浅間義孝
監督 山田洋次
音楽 松村禎三
撮影 高羽哲夫
出演 三国連太郎（浅野昭男）、永瀬正敏（浅野哲夫）
和久井映見（川島征子）、浅田美代子（浅野とし子）
田中要三（浅野忠司）、原田美枝子（浅野怜子）



【あらすじ】

バブル期の東京。母親の一周忌で急遽、故郷岩手に戻る哲夫。久々に集まる浅野家の家族。長男忠司は成績もよく大学を出て大企業に勤め、結婚して二人の娘と千葉のマンションに住む。長女のとし子は結婚して実家の近くに住む。しかし、末っ子の哲夫は結婚もせず東京でフリーター生活を続ける。父親の昭男は身体に爆弾を抱えるものの、百姓仕事をしており田舎を離れる気はない。▼東京に戻った哲夫は鉄製品の運送会社で働き始め、得意先で出会う若い女性川島征子に一目惚れする。口を開いてくれない征子に苛立つ哲夫。征子が聾啞者であることを偶然聞いた哲夫は驚くが哲夫の気持ちは変わらない。▼熱海で開かれる戦友会に出席するために

上京する昭男は長男の忠司一家のマンションに泊まる。忠司は昭男と一緒に住もうと話すが都会のマンション暮らしに馴染めない昭男は断る。その晩昭男は、気がかりな哲夫の許を訪れる。そこに征子がやって来る。哲夫は征子を昭男に紹介する。昭男は驚くが二人の様子を見て祝福する。心配事に目処がついた昭男は岩手に戻り、貧しくとも幸福だった若き日の家族の思い出を回想する。

名匠山田洋次が、地方に住む年老いた父親と都会に出た頼りない息子を軸に、家族の幸福を問う。

【解説】

■ポイント

●山田版東京物語

- ・共通点：地方に住む年老いた親と都会に住む子供。親の上京と子供の家への宿泊。できの良い子と心配な子
- ・相違点：本作では心配事に目処がつきハッピーエンド

●受賞（1992年第15回日本アカデミー最優秀賞）

作品賞、主演男優賞（三国連太郎）、助演男優賞（永瀬正敏）、助演女優賞（和久井映見）

■見どころ

●三国廉太郎の演技

山田作品初登場であるがその存在感は抜群。

特に、哲夫の結婚が決まってからの演技は微笑ましい。

●噛みあわない親子の気持ち

時代の急速な変化、東京と地方の格差、世代間の意識のズレ
それでも変わらない家族愛

ショーシャンクの空に (The Shawshank Redemption)

観賞日 2021年3月22日 上映時間 143分

【概要】

制作 1994年 アメリカ
原作 スティーヴン・キング 『刑務所のリタ・ヘイワース』
監督・脚本 フランク・ダラボン
音楽 トーマス・ニューマン
撮影 ロジャー・ディーキンス
出演 ティム・ロビンス (アンディ)、モーガン・フリーマン (レッド)
ボブ・ガントン (ノートン刑務所長)、クランシー・ブラウン (ハドリー主任刑務官)
ジェイムズ・ホイットモア (ブルックス)



【あらすじ】

戦後間もない1947年アメリカ、メイン州。不貞を働いた妻と相手の男を殺害したとして終身刑の宣告を受けたアンディ。銀行の若き副頭取であったアンディが入所したショーシャンク刑務所はノートン所長と腹心の鬼主任ハドリーが支配する無法地帯であった。悪夢のような2年間をすごしたある日、アンディはハドリーに相続税対策の指南をし、信頼を得るようになる。さらに、ノートン所長の眼鏡にもかない図書係になったアンディは州予算を獲得し所内の文化活動を推進する。囚人の労働力を使った青空奉仕

活動を始めたノートン所長。会計係となったアンディはかつてのキャリアを活かし所長に裏金の蓄財の仕方を教える。アンディが入所して18年が経過したころ、トミーという青年が入所してくる。トミーから聞いた衝撃的な話。自らの冤罪を晴らすため所長にその話をすると裏金の存在が外部に漏れることを恐れた所長はトミーを殺害させてしまう。所長の対応に失望したアンディは遂に重大な決意をする。親友のレッドを不安にさせたアンディの決意とは。

痛快極まりないラスト20分。湧き上げる感動。

【解説】

■ポイント

●原作：スティーヴン・キング、監督：フランク・ダラボン

映画化されたキング作品は数多くあり、そのほとんどは興行的にも成功。本作の原作のタイトルは『刑務所のリタ・ヘイワース』でリタ・ヘイワースは1940年代のセックス・シンボルとなったハリウッド女優。リタのポスターは、その後、マリリン・モンロー、ラクエル・ウェルチに変わっていくが、ポスターが本作の重要な役割を果たす。因みに、このコンビによる映画は他に「グリーン・マイル」(1999年)、「ミスト」(2007年)等。

■見どころ

●生きるうえで力になる名セリフの数々

「心の豊かさを失ってはいけない。人間の心は石ではない。誰の心の中にも希望がある」(アンディが囚人仲間に語った言葉)

「選択肢は二つだけ。必死に生きるか、必死に死ぬかだ」(アンディがレッドに語った決意)

「希望は素晴らしい。何事にもかえがたい。希望は永遠の命だ」(アンディがレッドに託した手紙。レッドが生きる決意をした言葉)

●ラスト・シーン

感動的なラスト・シーン。ハリウッド映画らしいハッピー・エンド。

143回例会 令和3年1月31日

北野代表がお亡くなりになりましたので1月、2月は、これまで北野代表が選句されておられました秀句「天・地・人と特選」は話し合いの結果、参加者全員の選句のうち高句句順にすることと致しました。よって、各賞と特選句の論評はそれぞれの句の作者による自評です。(鈴木)

〔秀作〕

天賞

飼ひ慣れし丹頂飛翔忘れしか あきえ

丹頂鶴は日本最大の野鳥で、翼を広げると2m以上の大きさを誇り白く優雅な姿に惹かれます。国の特別天然記念物で北海道釧路で自然の姿を見ることができます。冬のある日、都内の臨海公園で思いがけずも丹頂鶴を1羽見つけました。こじんまりとした池で周囲に柵もないので「飛んでいかないのですか？」と尋ねると「慣れているので逃げる心配はない」と。この丹頂鶴は長い間人間に飼われて幸せなのかと、複雑な思いに駆られました。

地賞

厳冬の木々渡るこゑ栗鼠あはれ 和 女

日課のウォーキングの途中、今まで聞いたことのない声でした。公園内の高木の上からだ。定かではないが、巣があるのか、子栗鼠が親を呼んで鳴いている気がした。夕暮れの寒風の中、何とも悲しげな高い声が辺りに響いていた。しばらく、鳴き声が耳に残り、様子が気掛りに……。ただ、最近は森林や公園などで、野生化した台湾栗鼠を見かけることが多い。低い鳴き声が木々の間に響く。数が増えすぎて、住宅地にも出没。我が家の庭でも日常的な風景になりつつある。

人賞

冬ざれや波打ち砕けて空に舞ふ 一 柷

かつて冬季に能登半島へ旅行した折りの「波の花」の様子を思いだして詠んだ句。厳冬の荒波は我々観光客にとっては珍しく海の岩場で乱舞する風景は見応えがあった。しかし、「波の花」は風に煽られ1キロメートルも飛び散ることもあるらしい。観光としては素晴らしいものの地元の人々にとっては塩害の被害に遭うこともあるので大変迷惑な話しでもある。

特選

靴と傘庭いつぱいに春隣 国 眼

雪になるかもとの予報が雨でおさまり、翌朝は雲一つない快晴。庭の土も乾いてきたので、昨日濡れた傘と靴を玄関から出しました。何かか心も弾んできて、残りの傘と靴も全部所狭しと並べました。近くに買い物に出か

けたら、町内のあちらこちらでも、傘と靴が同じように干してあります春もそこまで来ているんだなあと、ふと感じた次第です。

寒の闇明くを待ちわぶ辛丑

重 九

今年の干支は60年ぶりの辛丑です。辛は痛みを伴う幕引きを、丑は殻を破ろうとする命の息吹を意味するそうです。昨年はコロナ感染拡大の重圧、トランプの国・社会の分断等で大変な一年でしたが、年が変わり今年の寒は昨年から続く闇が、「朝の来ない夜はない」のとおり明けるのを待ちわびる刻です。転換期は牛のように変化に対応する粘り強さと誠実さが大切かなと思います。

竜の玉百寿の恩師逝き給ふ

とも女

恩師とは、高校時代の女の先生です。わたしの高校は、もと、男子だけの旧制中学でしたから、教師も男の方が多く、女の方は数人でした。しかも、みな、お若かったように思います。先生は、いつも、優しい眼差しで生徒に接し、包容力のある方でした。又、紫の地に花模様のあるワンピースがお似合いです。担当科目は、数学で、一旦授業が始まると、情熱的で、きびきびと授業が進行し、理性的な方でもありました。わたしだけでなく、生徒皆、慕い、憧れの先生でした。先日、同期の友達から電話があり、先生が、百歳で亡くなられたと知らされました。大往生だったと思います。きっと、濃紫の竜の玉となって天国へ旅立たれたことでしょう。

寒月にひと声残し暁鴉

十 九

凍てつく厳冬の夜明け。西空に名残の月が冷たい光を放っている。東の空は、夜明け間近の暁茜。早起きの鴉が今日の日を生きる思いを、一声に込めて羽ばたく。夜の務めを終えて消えゆくものと、今日の日を生きる歓びを歌うものとの、出会いと別れの一時が心に響く。

牡蠣鍋や旧姓飛び交ふ同窓会

春 駒

牡蠣鍋を囲んでの久しぶりの同窓会の様子です。女性は結婚などで地元を離れることが少なくないので中々集まることが難しいですが、一度顔を合わせると一瞬にして子供の頃にに戻ります。そこには長く親しんだ今の名前はありませんが、遠くの席に居ても誰が何の話題にしているのかも分かります。鍋が煮詰まってしまうほど話は尽きませんが解散と同時にまた現実に戻ります。旧姓だからこそその心地良さはわずかな時間だけでも、年を重ねてもあだ名や呼び捨てが出来ると幸せなひと時、それが同窓会というものなのではと思います。

144 回例会 令和3年2月28日

[秀作]

天賞

窯元の唐臼響く日田の春

二 祥

大分県日田市北部の山あい、思想家・柳宗悦が「世界一の民陶」と絶賛した焼物「小鹿田（おんた）焼」の里がある。集落には一子相伝の窯元が10軒あり、谷川が流れその水を使い陶土を挽く唐臼の音は「日本の音風景百選」に選ばれている。又同集落は国の重要文化遺産景観としても認定されている。この句は数年前、妻の趣味の陶芸の里巡りに同行した時の句を改作したもの。今回は、端的に谷川の水が唐臼を挽き、その音はまさに里の春を呼んでいると捉え詠んでみた。

地賞

水温む十指やんはり解かれて

国 眼

金沢植物園の頂上、ののはな館から北谷へと辿るコースがあります。四季折々に趣があり、私の大好きな散歩道の一つです。二月のある日、途中にある池の水面がきらきらと輝いていました。近寄ってみました。そろそろと両手を入れてみました。心地良い水温です。両手は初めのグーの形から、いつのまにかパーの形へ。全てを委ねて、そして任せて・・・。

人賞

春耕や一畝ごとの深呼吸

一 祝

私は50歳代後半に家から3分程度の所に約30坪の土地を10年間借りて野菜づくりを妻と楽しみました。とは云へ耕すのはもっぱら私の役割で、耕せば耕すほど良い土になるのが励みになり何回も何回も耕し、その都度汗を拭いたり深呼吸をしたりしましたが、リフレッシュ出来る良い時間でもありました。作っていたのは、ダイコン、ネギ、ナス、ジャガイモ、ピーマンなどで成長を見るためちょくちょく観察に行き一喜一憂していました。特にピーマンの出来が良く近所へお配りしたことを覚えています。

特選

片口の酒に揺蕩う春の月

春 駒

人は、嬉しい時、悲しい時、悔しい時や淋しい時、また故人を見送る時や祝いの時など様々ですがそこには必ずと言ってよいほど酒があります。この句は春の夜のおぼろとも言えないような月が浮かんでいる中、ゆったりとした時間の流れを感じながら、静かに酒を楽しむ様子を詠みました。大ぶりの片口に辛口の酒を注ぎ少し大きめのぐい呑みで飲み干す。至福の時です。

薄紙の包む和菓子や朧月

とも女

先日、久しぶりに、お客様が見えました。そのお客様からお土産に和菓子を頂きました。お客様が帰られてから、おもむろに箱を開けると、ひとつずつ薄紙に包まれた和菓子でした。黄色とピンクの色が交互に透けて見えました。うちの家族は、洋菓子より和菓子が好きなので思わず笑顔になりました。外を見ると、春の月が、うすぼんやりと出ていました。薄紙に包まれた和菓子のように。

躓きつも生きる幸せ梅咲けり

祥 代

人は生きてると嬉しいこと、楽しいこともいっぱいありますが、悩みもし、躓きもします。そんな時どこからともなく梅の香が漂い、ああもう春が来たのだと気づかされます。それを愛でていますと知らないうちに生きている幸せを感じてきます。悩みも何もかも吹っ飛んでしまいます。自然って素晴らしい！

春眠の嬰指白しやはらかし

とも女

朝は、気温が低く寒く感じますが、昼間は、晴れると、暖かい日が多くなってきました。午後、電車に乗っていたら、若い母親が、ベビーカーを押して乗ってきました。そして、わたしの席の近くに、ベビーカーを止まらせました。中に、4～5ヶ月ぐらいの赤ちゃんが、気持ちよさそうにすやすやと眠っていました。赤ちゃんは、ベビータオルを掛けていましたが、足先が出ていました。ぷっくりとした白い指先は、柔らかかったです。可愛いので暫く見つめていました。

陽が鞣す川面に蝶々生まれけり

祥 代

春の陽に誘われそぞろ歩きをしていますとせせらぎに出ましたその陽が鞣したように穏やかな川面に蝶々も誘われたように一羽二羽と飛び遊んでいました。その初々しい蝶々に出会えた嬉しさ、喜びを詠んでみました。出会って素晴らしい！

145 回例会 令和3年3月25日

今月は話し合いの結果、秀句は天・地・人は選句せずに、特選句8句といたしました。よって、それぞれの句の論評は作者による自評です。(鈴木)

特選

瞬くは師の星ならむ春の宵

とも女

平成18年、北野一清主宰は、有志と“わ”の会の一分科会として、浮雲俳句会を立ち上げました。以来、15年間の長きにわたり、俳句を指導して来られました。全く俳句の体を成していない会員に、主宰手作りのテキストを配られ、俳句の基本を教えてくださいました。今になって、主宰の俳句に対する情熱に頭が下がります。主宰は、会員の願い叶わず他界されましたが、さぞ心残りだったことでしょう。春の宵、ふと空を見上げると、星が瞬いていました。一段と輝いている星は、今のわたしにとって、科学の世界ではなく、師の星に見えました。わたしたちにエールを送っているのでしょうか。主宰の期待通りにならなくても精神は受け継いで浮雲俳句会を前進させたいものです

花散るや浮雲高くひかりをり

重 九

浮雲俳句会の代表(主宰)北野一清先生への追悼句。15年の長きに亘り俳句のご指導をいただくと共に句作の楽しさと幸せを享受させて頂きました。この度浮雲俳句会代表を引き受けることになりましたが、高い浮雲の上から句会メンバーの今後をお見守り下さい。合掌！

句の道を歩む師の影春の野辺

勇 平

先ごろ俳句の師が旅立った。俳句のイロハから技法まで、懇切丁寧に指導を受けてきたことが思い起こされる。今ごろは天国で木々の芽が吹く春の野辺を散策でもして楽しんでおられようか。

眼差しは真直ぐ未来へ卒業す

春 駒

出会いがあれば別れがある。別れがあればまた新たな出会いが待っています。誰しもが経験する卒業は切ないけれど、新しいスタートの始まりでもあります。それぞれがそれぞれの選んだ道へと進み、自分のまだ見ぬ未来へと踏み出す。期待と不安が絢交ぜになりながらも胸膨らませて一歩また一歩と成長して行って欲しいです。

道化師の投げ銭帽子に春の雨

三 洋

道化師は、道端で日銭を稼ぐ暮らし。そこに冷たい雨の滴に当たりながらも、もうすぐ春が近いし頑張って喜んで貰うしか無いか〜・〜・これが俺の生き方だ。と独り言を言いながら黙々と小道具を片付け始める。

漕ぎ出せば海の上なり半仙戯

重 九

熱海錦ヶ浦のアカオハーブ&ローズガーデン内の「ぶらんこ」は山頂の崖の端にあり、大きく漕ぎ出すと正に海の上に飛び出す感でスリル満点、楽しいブランコでした。半仙戯は「ぶらんこ」の異名で、半ば仙人になるような気分がすることからいいですが、下五を五音の名詞で押さえどっしり感を出しました。

春雪の艶めく尾根のうねりかな

十 九

山の尾根の景観は、当然のことながら四季それぞれに 彩合いの異なる主張がある。そして、稜線をかたどり白く輝く雪にもまた、真冬のそれと春光溢れる時季とでは、自ら韻律の異なるものを表現して見せてくれる。春日を浴びて柔らかなうねりを見せる尾根の雪衣は、真冬の峻烈な拒絶の気配は薄れ、艶やかな誘いを歌っているかのようでさえある。それは、遙かの昔から時を超えて人の心を和らげてきた女神の歌声なのでもあろうか。

亀鳴くや明日のことは明日わかる

三 洋

♪春がきた♪春がきた♪春がきた。春は駆け足でやってきた。どこかで亀さえずっている。明日のことをAIなど愚かな技術にシミュレーションさせるなんて辞めて、今日の風、今日の匂い、今日の好日をたのしみたい。

パソコンを使いこなす会 実施報告【4】

2021年1月～3月

2020年度 第19回分科会

- 日時：2021年1月12日（火）9：30～12：00
- 場所：オンライン
- 内容：Excel 講座—数式や関数の利用①
 - 1.数式の入力
 - 2.関数の入力
 - 5.参照方式の切り替え
 - 6.絶対参照の利用
 - 7.複合参照の利用
- 参加者：220名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年1月12・19日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第20回分科会

- 日時：2021年1月19日（火）9：30～12：00
- 場所：オンライン
- 内容：Excel 講座—数式や関数の利用②
 - 3.関数の組み合わせ
 - 4.数式の参照範囲の変更
 - 8.構造化参照の利用
 - 9.代表的な関数
 - 10.数式のエラーを解決
- 参加者：220名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年1月12・19日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第21回分科会

- 日時：2021年2月9日（火）9:30～12:00
- 場所：オンライン
- 内容：Internet 講座 － Google カレンダー －
 1. Google カレンダーに予定を入れる
 2. Google カレンダーの表示形式を変更
 3. スケジュールの変更・追記
 4. 通知機能を活用する
 5. スケジュールを削除する
 6. 定期的にある予定を一回で設定する
 7. Google カレンダーに祝日を表示する
 8. Google マップと連動して使用する
 9. Google ドキュメントを添付する
 10. ショートカットを利用する
 11. カレンダーを印刷するWindows 講座 －パソコンの仕様－

- 参加者：Z 20 名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年2月9日_テキスト
パソコンを使いこなす会_2021年2月16日_テキスト②
-



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第22回分科会

- 日時：2021年2月16日（火）9:30～12:00
- 場所：オンライン
- 内容：Windows 講座 － Pdf ファイル －
 1. PDF とは
 2. PDF ファイルを読む
 3. WORD をPDF に変換
 4. PDF をWORD に変換
 5. PDF を編集する

- 参加者：Z 20 名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年2月16日_テキスト①
-



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

➤ 第23回分科会

- 日時：2021年3月9日（火）9:30～12:00
- 場所：オンライン
- 内容：Excel 講座 — 文字とセルの書式 —
 - 1.表示形式の変更
 - 2.列幅や行の高さの調整
 - 3.セルの結合
 - 4.文字サイズやフォントの変更
 - 5.文字色や下線の設定
 - 6.ふりがなの表示
 - 7.文字列の配置の変更
 - 8.セルの書式だけを貼り付け
 - 9.形式を選択して貼り付け
 - 10.条件に基づいて書式を変更
- 参加者：Z 21名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年3月9日_テキスト_Total-r1
- テキスト：講師の共有画面を見ながら EXCEL 操作する方法 (002)



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第24回分科会

- 日時：2021年3月16日（火）9:30～12:00
- 場所：オンライン
- 内容：Excel 講座 — セル・シート・ブックの操作 —
 - 1.行・列の挿入・削除
 - 2.セルの挿入・削除
 - 3.文字列の検索
 - 4.文字列の置換
 - 5.行・列の非表示
 - 6.見出しの固定
 - 7.ワークシートの操作
 - 8.ウィンドウの分割・整理
 - 9.シート・ブックの保護
- 参加者：Z 22名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2021年3月16日_テキスト_Total-r1



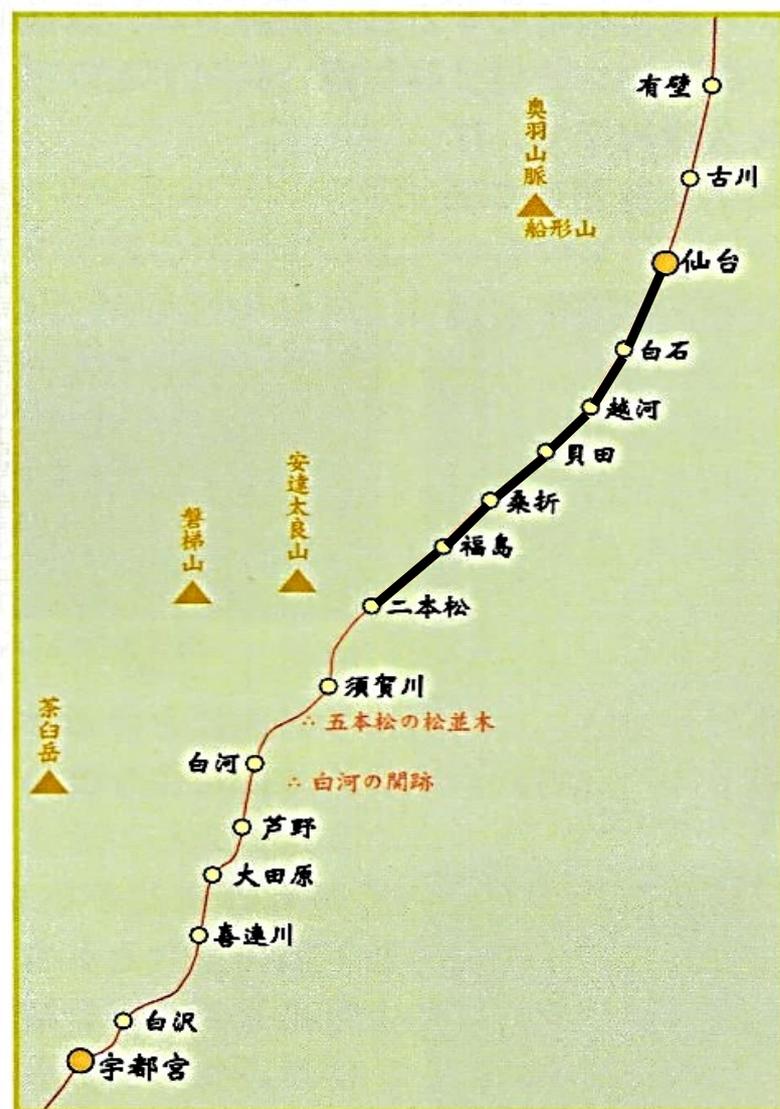
この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

江戸時代の五街道を歩く(13)

古文書を読む会 代表 真田 雅行

奥州街道紀行

(2/2)



●—○：今回対象範囲

明けて平成21年春、奥州街道の旅を再開、114号線の「陸羽街道」を北上し東北本線を横切った。ふと戦後間もない昭和24年8月17日午前3時9分に起こった列車転覆の「松川事件」で乗務員3人が即死した発生現場がこの辺だったことを思い出し、現場へ行ってみたい衝動にかられて予定を変更し、人に何度も道を聞きながら訪れた。この事件は人員整理反対闘争の一環だとして、レールはずしの共同謀議による転覆事件として5回の裁判で14年間も争われ、作家の広津和郎氏らによる裁判批判を経て、差し戻し裁判の結果、被告14名全員が無罪となった終戦直後の一大事件だったのでよく覚えている。



松川事件の列車転覆現場と殉死者の慰霊碑（墓）

昭和24年は日本中が騒然としており、4月に占領軍の示唆による「団体等規正令」が施行され反共旋風が巻き起こる中、学生運動が過熱化した。7月には下山事件と三鷹事件が起こり、8月にこの松川事件が発生した。中国では蒋介石軍が毛沢東軍に敗れ台湾へ脱出、翌25年には朝鮮戦争が勃発した。

松川事件発生現場は東北本線が緩やかにカーブしているところで、「謀略忘れまじ松川事件」と刻まれた石碑と列車が転覆したその場所に殉死した3人の名前を刻んだ慰霊碑（墓）が建てられ、少し離れた丘の麓の小さな「松川記念塔公園」には大きな記念塔があったが、既に60年の歳月が流れ、風化しつつあることを物語るかのよう

に、道を尋ねた近くの人のお大半が事件はもちろん現場もどこか知らなかった。

やがて板倉重昌（天草の乱で戦死）3万石の城下町「福島宿」に掛かり、芭蕉も訪れた安楽院の「文知摺観音」に立ち寄る。ここには光源氏のモデルといわれる嵯峨天皇の皇子・源融みなもとのとおるの和歌“陸奥のしのぶもぢずり誰ゆえにみだれそめにし我ならなくに”の恋歌で知られ、又万葉の昔からここ「しのぶの里」に群生していたしのぶ草の葉形を摺り込んだ「もちずり絹」の産地として多くの歌が詠まれてきた。ここには皇子を慕った村長の娘虎女むらおとめが麦の穂でここにある大きな文知摺石（鏡石）をこすったら彼の姿が現れたという。



芭蕉も訪れた安楽院の文知摺石（鏡石）

入口の正面奥にその石があり、芭蕉が訪れた頃はほとんど土中に埋まっていたが、明治に至り周囲の土を取り除いたという。確かにすぐ近くの芭蕉の句碑は土を取り除く前の高い位置にある。

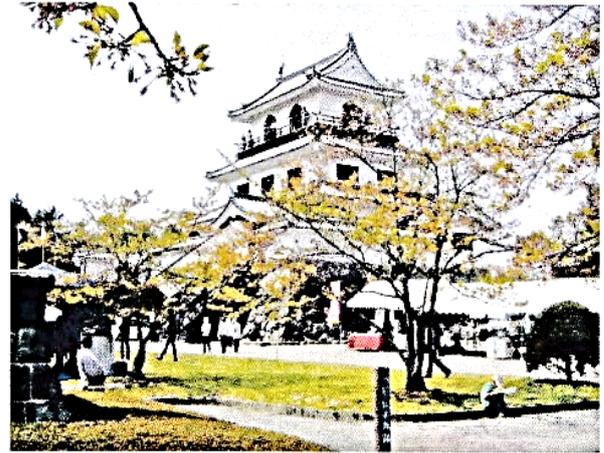
早苗とる手もとやむかししのぶ摺

芭蕉

月の輪の渡しで阿武隈川を渡ると「瀬上宿」、更に伊達氏の祖・朝宗の墓のある「桑折宿」を過ぎて福島県最北端の「国見宿」にきた。この辺りは既に桜が散り、薄赤の桃の花が満開だった。

国見の北端にある厚樫山（阿津賀志 289m）は、奥州三代の栄華を誇った藤原氏と源義経を追って平泉へ進軍する源頼朝軍が激突した古戦場で、これが藤原氏滅亡のきっかけになった。中腹に当時の面影をとどめる二重堀の防塁（国史跡）が残る。

奥州街道は「貝田宿」を過ぎ宮城県に入り、やがて蔵王連峰と阿武隈高地に囲まれた「白石宿」に至る。ここを有名にしているのは丘陵にある「白石城」で、江戸初期伊達政宗が家臣の「片倉小十郎景綱」に与えて以来、仙台藩では青葉城を除き明治維新まで続いた唯一の城であることと、明治維新时期に官軍に対し会津藩支援のため「奥羽越列藩同盟」をここで締結し、維新の歴史の一コマを飾った城でもあるということである。



片倉小十郎の白石城

城内は益岡公園となり、本丸跡には小十郎の頌徳碑が天高く建てられていた。

ここで思い出すのは、白石大橋の北岸、小高い丘陵地に立っている「世良修蔵」の墓である。彼は幕末期の長州士族で、官軍の奥羽鎮撫総督府参謀として仙台にきたが、会津城攻略のため仙台藩の出兵を強要した。このため奥羽24藩が白石城に集り、平和解決を図るため会津降伏嘆願書を出したが、彼は独断で却下し逆に仙台藩を踏み潰すと恫喝したため、明治元年4月、福島の遊郭で襲われ捕えられ殺害された。彼の墓碑には「為賊所殺」と刻まれていたが、今では「賊」の字は削り取られている。薩長政権たる明治政府への遠慮であろうか。

奥州街道は白石を過ぎると、太平洋側にカーブし仙台まで距離は約70km、以外と仙台は遠い。途中丘陵地帯と田園が果てしなく続く道を遥か西方に雪を頂く蔵王連峰を見遣りながら、日本三大稲荷の一つ竹駒神社の「岩沼宿」、三十六歌仙の一人で陸奥守に左遷されて下向した左近衛中将・藤原実方の墓がある「名取宿」を早足で通過すると、仙台市のベッドタウン化で交通量の多い道の前方に仙台市の中心街ビルが見えてきた。

さて、「仙台宿」からは奥州街道をはずれ、芭蕉が辿った奥の細道ルートが多賀城跡→塩釜→松島を目指すことにして、古川宿から更に北上して青森県の「三厩宿」までの450kmは他日を期し、仙台までで一旦打ち切ることにした。

言うまでもなく仙台は伊達62万石の城下町、青葉城跡と広瀬川がシンボルで、土井晩翠の詩「荒城の月」と歌謡曲「青葉城恋唄」に代表される。市内を一日で歩いて廻るには見るべき所が多すぎるので、曲流する広瀬川に三方を囲まれた経ヶ峰の中腹にある「瑞鳳寺」と伊達政宗の廟所「瑞鳳殿」、仙台城（青葉城）跡、江戸中期の寛政三奇人の一人で沿岸防備の必要性を説き幕府の国防政策を批判したため財産没収・蟄居幽囚となり病死した『海国兵談』の林子平や作曲家・万城目正が眠る「龍雲寺」、仙台市随一の純日本式庭園を誇る「輪王寺」など数ヶ所にとどめた。龍雲寺境内の林子平の辞世の碑“親も無し妻無し子無し板木無し金も無けれど死にたくも無し”が印象的だ。



仙台(青葉)城址に立つ伊達政宗の騎馬像

翌日はあいにくの雨の中、今日が初日という多賀城市内にある「東北歴史博物館」の特別展および常設展で復元模型や出土品を鑑賞後、偶然出くわした駅構内のボランティアガイドの案内で傘をさしながらいよいよ目指す「遠の朝廷・多賀城」跡に向かう。ここには奈良時代前半、東北地方全域を統治するための役所が置かれ、正に大和朝廷の陸奥支配の最前線であった。

城跡とはいうものの実体は日本書紀に記すように「多賀柵」跡であり、大野東人が陸奥の国府と鎮守府を置くために多賀柵を築いたのは奈良時代の神亀元年（724）であったが、掘立小屋では勿論なく、後世の城でもない、要害の地に建てられた宮殿（政庁）跡だった。（その後平安初期に征夷大將軍・坂上田村麻呂が更に北上して胆沢城に移った）

ガイドによると、柵域は東京ドームの17倍という広大なもので、今既にその柵内に入っていて、駐在した役人の邸宅跡を過ぎると正面に小高い丘があり、外郭南門跡から入ると、小さな覆堂の中にかの有名な「多賀城碑」（壺碑）がおさめられ、すぐ近くに芭蕉句碑が立っていた。江戸時代の始めに発見され、風雨にさらされていたらしいが、調査の結果本物とされた。格子の間から覗くと、文字



多賀城碑 芭蕉も見た壺碑

はかなり摩滅しているが一部はかすかに見える。芭蕉はこの碑を見て感極まったのか『奥の細道』に次のように記している。

むかしよりよみ置る歌枕、おほく語伝ふといへとも、山崩れ川流て道あら
たまり、石は埋て土にかくれ、木は老て若木にかはれば、時移り、代変し
て、其跡たしかならぬ事のみを、爰に至りて疑なき千載の記念、今眼前に
古人の心を聞す。行脚の一徳、存命の悦び、羈旅の勞をわすれて、泪も落
るはかり也

今、芭蕉も見たその碑の前に佇んで感無量を禁じえなかった。

雨がだんだん激しくなってきた。前方に高さ50mくらいの丘陵が連なっている。

と、廃寺跡の向こうに数十メートルの組石階段が現れ、登りきると「多賀城政庁跡」だった。平安時代初期までに4回建て替えられたという説明図を見ながら進むと、中央に正殿の基壇と礎石が並んでいた。周囲を見渡したところでは、丘陵の一带斜面を広い平坦地にする大規模な造成が当時行われたようで、政庁跡も真っ平らに整地されていた。



多賀城址 政庁跡

広い柵内のあちこちには役所や邸宅が発掘され埋め戻されて、その柱跡に円柱切株が立っている。その一つ平安時代の外郭東門跡を過ぎしばらく行くと、「陸奥総社宮」に出た。

これは平安時代の律令の施行細則・延喜式神名帳に定められた陸奥国31郡の100社の祭神を、祭主である国司の参拝に便利なように一ヶ所に合祀勧請したもので、鳥居の両側に100社の名が掲げられていた。

さて、ここから約8km雨中歩行して陸奥一ノ宮・一森山の「塩竈神社」に至り、二百数十段の急勾配の参道を登りつめ、朱塗りの入母屋造の拝殿から参拝した。

向かって右側に『奥の細道』に芭蕉も記している素朴で力強い南部鉄の灯籠がある。藤原秀衡の三男忠衡（和泉の三郎）が寄進したもので、“文治3年（1187）”の銘があり、扉に日月の形が彫られている。



塩竈神社境内の芭蕉も見た鉄の灯籠

更に末社の「御釜神社」に立ち寄ると、製塩に用いたという鉄釜が祀られ、毎年藻塩焼の神事が行われるという。芭蕉はここから舟で海路「松島海岸」に渡った。

さて、予定では翌日一日を松島見物に充てていた。が、この日もあいにくの雨模様で松島湾はもやに煙っていた。以前来訪の時は晴天で湾内クルーズを満喫できたが、^{おしま}雄島や福浦島を歩いて見て、雨の松島も又捨て難い情緒があることを実感した。

「雄島」は瑞巖寺とゆかりが深く、朱塗りの欄干の渡月橋を渡ると、島内には岩窟が数多くあり、卒塔婆・仏像が安置され、昔から諸国から集ってきた僧侶や巡礼者達が修行した場所、全島が霊場といった雰囲気がある。

島内には芭蕉を中心とした夥しい句碑や詩碑があり、芭蕉は瑞巖寺を訪れた後ここに来たことを記している。島の南端には妙覚庵主・頼賢の徳行を称えた「頼賢碑」が立つ（弟子達が徳治2年（1307）に立て、現在国の重文）。頼賢は12世紀末



松島の霊場・雄島

22年間この島に籠り、見仏の再来と仰がれたという。

緑の松に覆われた島からは松島海岸、湾内に浮かぶ五大堂・双子島・福浦島などがポーッとかすんで佇んで見えた。

雨で湾内クルーズを断念し、国の重文「五大堂」と東北地方随一の禅寺・国宝「瑞巖寺」と「宝物館」、最後に歩いて朱塗りの福浦橋（252m）を渡り、自然植物園の「福浦島」を巡った。

特に瑞巖寺は伊達政宗が再興して伊達家の菩提寺としたもので、豊臣秀吉と豪華さを競い合った桃山時代の傑作だけに、華麗で贅美を尽したものだ。

松島はあまりに著名なので、詳細は省略して、芭蕉の『奥の細道』の一節を拝借して奥州街道の旅の締めくくりとしたい。

十一日瑞巖寺に詣、^{もうず}……………雲居禪師の徳化に依て、七堂薨改りて金壁莊巖光^{かがやかし}を輝、仏土成就の大伽藍とはなれりける

会員の動静

“わ”の会会員の北野清市氏（91歳）が2021年2月24日に逝去されました。生前“わ”の会の活動に格別のご尽力を賜りましたことに、心から感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。なお、「浮雲俳句会」より追悼文をいただきましたので掲載いたします。

北野一清さんを悼みて

浮雲俳句会代表 太田耕蔵

浮雲俳句会の代表北野清市先生（俳号：北野一清）が2月24日ご逝去なさいました。享年91歳。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

北野一清先生との出会いは俳句結社「浮雲」が北野一清主宰の下に平成18年に“わ”の会分科会の一つとして誕生し、それに応募したことに始まります。一清さんは青森・福島県警本部長を歴任された警察OBで、第一印象は謹厳実直で少し取っつきにくい感がありましたが、俳句に関しては熱いところの持ち主で、60ならず“70の手習い”の私たち初心者を一前前の俳人に育てるために、手書きで作られたA4版のテキストをコピーして50回余に及ぶ講義をして頂いたり、句会後の食事会にご参加頂き俳論を闘わしたりと楽しいひとときを作って、落ちこぼれに気を配って頂きました。俳句に楽しさを感じ幸せな時間を持つことが出来たのは先生との出会いがあればこそと感謝しております。俳句とは、有季（季語がある）＋定型（五七五の17文字）＋詩（感動・余韻）であり、また“生きた証し”の一行詩である。生きた証しとして日々の肉声を唇先ではなく熱きはらわた（腸）を絞って詠嘆しなければ、生涯証明のうた（詩）として自得の句は生まれず、一層の研鑽を願うとご指導頂きました。一清さんの俳句との出会いは平成2年アメリカ東海岸ツアーに参加し、ポトマック河畔に日本ゆかりの満開の桜をみて詠んだ「アメリカの大地に根づくサクラかな」と聞いております。一清さんを偲んで私の選んだ10句をご紹介します。味わって頂ければと思います。



阿夫利嶺に脚をかけたる飛蝗かな
鎌倉の闇動かして蝦蟇鳴けり
菜の花のなかにタンカー現はるる
盆の月あげたる富士の大樹海
衣更へ街に軽さの生まれけり

落蟬の短き命掃きにけり
サーファーの乗る北斎の波頭
遮断機の棒一本の暑さかな
ヘリコプター朝寝の額叩き去る
星飛ぶや横須賀横浜袈裟懸けに

一清先生の亡き後「浮雲俳句会」は“わ”の会分科会から脱会し、俳句を楽しむ同好会として存続しようとの意見が大勢を占めました。話し合いの結果、先生の思いを継ぎ現状通り“わ”の会分科会の浮雲俳句会として存続することになりました。代表を委ねられた私としては大変な重荷ですが、先生の思いを守りながら会員の皆さんが俳句をやっていて楽しかった・幸せだったと感じられる句会作りに努力したいとおもいますので、天国より見守って頂きたく切にお願い申し上げます。安らかにお眠りください。

花散るや浮雲高くひかりをり

太田重九

行事予定

2021年6月～2021年8月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	6月	7月	8月
学習会	5月9日(日)市大カメリアホール 9:30～12:30 【120年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所】 “わ”の会会員 金間誠一氏	6月12日(土)市大カメリアホール 9:30～12:30 【「伊勢」から「北条」へ】 —関東管領北条氏の誕生— 東京大学研究員 谷口雄太氏	7月18日(日)市大304教室 9:30～12:30 【北条氏康の武蔵・上野侵攻】 東洋大学文学部准教授 木下聡氏
寺社を巡る会	5月6日(木)10:00 集合：京急金沢八景駅 テーマ：金沢八景の道 訪問先：染王寺、掩体壕、野島稻荷神社ほか	6月3日(木)10:00 集合：S.L海の公園柴口駅 テーマ：あじさいの道 訪問先：熊野神社、宝蔵院、八景島ほか	7月1日(木)10:00 集合：京急追浜駅 テーマ：浦郷観音道 訪問先：正光寺、自得寺、観音寺、光竜寺ほか
古文書を読む会	6月10日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：幕末志士の手紙⑨ 6月24日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：島原の乱⑥	7月8日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：幕末志士の手紙⑩ 7月22日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：島原の乱⑦	8月12日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：幕末志士の手紙⑪ 8月26日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：島原の乱⑧
ふれあいの道歩こう会	6月17日(木)予備日18日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 10番：太田道灌・日向薬師のみち 神奈川県 伊勢原市	7月15日(木)予備日16日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 11番：順礼峠のみち 神奈川県 伊勢原市 厚木市	休会
懐かしの映画を観る会	6月14日(月)金沢CC 12:15～ 陽のあたる場所 6月28日(月)金沢CC 12:15～ 北京ヴァイオリン	7月12日(月)金沢CC 12:15～ 白い巨塔 7月26日(月)金沢CC 12:15～ 真夏の決闘	8月9日(月)金沢CC 12:15～ 手紙 8月23日(月)金沢CC 12:15～ オーケストラ
浮雲俳句会	6月27日(日) 10:00～ 第148回例会 会場 未定 テーマ 当季雑詠3句、兼題1句	7月25日(日) 10:00～ 第149回例会 会場 未定 テーマ 当季雑詠3句、兼題1句	8月29日(日) 10:00～ 第150回例会 会場 未定 テーマ 当季雑詠3句、兼題1句
パソコンを使いこなす会	6月8日(火)未定 WORD講座 —書式・図形— 6月15日(火)未定 Internet講座 —スパム広告・詐欺メッセージ— 9:30～12:00	7月13日(火)未定 WORD講座 —画像付き文書— 7月20日(火)未定 Internet講座 —YAMAP— 9:30～12:00	8月10日(火)未定 WORD講座 —ビジュアル文書— 8月17日(火)未定 WORD講座 —ビジュアル文書— 9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 080-6755-1473(江口) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 783-0278(太田)
- ・ふれあいの道歩こう会 790-0128(柴崎) ・懐かしの映画を観る会 080-5172-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-3535-8639(金久保) ・パソコンを使いこなす会 090-2539-8202(相川)

編集後記 中国の言葉に「水に落ちた犬は叩くな」というのがあります。これは、窮地に陥っている人に追い打ちをかけるようなことはするなという意味だと思ひます。翻って昨今の日本の社会を考えるとどうでしょう。残念ながら、私には「水に落ちた犬は死ぬまで叩け」というのが実態であると思ひてなりません。この国は一体いつからこんな不寛容な社会になってしまったのでしょうか。仮に社会はそうなったとしても、“わ”の会の中だけはピンチの状況にある人を皆で助け合えるような寛容な社会であってほしいと思ひます。特に、コロナ禍の現在においては。 (鶴岡重典記)	発行日	2021年5月9日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鶴岡 重典
	編集委員	田中 徳明 千々木 雅也 佐藤 和弘 横山 美智男 熊谷 信雄 橘 博章 斧原 良一 山腰 策次郎